

注3

大学番号：091

[平成25年度設置]

計画の区分：学部を設置

注1

認可

共立女子大学 看護学部 看護学科

注2

## 【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人共立女子学園  
平成28年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局（課）名 総合企画室

職名・氏名 トウカンシツチョウ スガイ セイジ  
統括室長 須貝 成司

職名・氏名 シュニン イイダ アツシ  
主任 飯田 篤

電話番号 03-3237-2784

（夜間） 03-3237-2784

F A X 03-3237-2767

e-mail aiida@kyoritsu-wu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に  
( )書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学新設の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成28年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## 看護学部

＜看護学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	31
4. 既設大学等の状況	32
5. 教員組織の状況	33
6. 留意事項等に対する履行状況等	54
7. その他全般的事項	55

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人共立女子学園

## (2) 大学名 共立女子大学

## (3) 大学の位置

〒101-8437  
東京都千代田区一ツ橋2-2-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(イシバシ ヨシオ) 石橋 義夫 (平成2年4月)	(ニシザキ キヨヒサ) 西崎 清久 (平成27年9月)	石橋義夫理事長死去に伴い、平成27年9月24日より就任(28)
学長	(イリエ カズオ) 入江 和生 (平成20年12月)		
学部長	(オオゼキ タケヒコ) 大関 武彦 (平成25年4月)	(クサカ カズヨ) 日下 和代 (平成27年4月)	病氣加療のため退職(27)
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。  
(例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)  
平成28年度に報告する内容 → (28)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
  - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
  - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。  
 ・ 様式は, 平成25年度開設の4年制の学科の場合(平成28年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	
看護学部 看護学科  学士(看護学)	4年	100人	年次 -人	400人

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平均入学定員 超過率	備考
	平成25年度		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	100人 ( - ) [ - ]	人	1.02倍							
志願者数	566 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	640 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	450 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	654 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]		
受験者数	543 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	597 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	433 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	631 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]		
合格者数	198 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	203 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	260 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	257 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]		
B 入学者数	100 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	100 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	106 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	103 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]		
入学定員超過率 B/A	1.00		1.00		1.06		1.03			

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		備 考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
1年次	[ - ] ( - ) 100	[ - ] ( - )	[ - ] ( 1 ) 101	[ - ] ( - )	[ - ] ( - ) 106	[ - ] ( - )	[ - ] ( - ) 103	[ - ]		
2年次	/		[ - ] ( - ) 99	[ - ] ( - )	[ - ] ( 5 ) 104	[ - ] ( - )	[ - ] ( 4 ) 108	[ - ] ( - )		
3年次			/		[ - ] ( - ) 90	[ - ] ( - )	[ - ] ( - ) 103	[ - ] ( 8 ) ( - )	[ - ] ( - )	
4年次					/		[ - ] ( - ) 86	[ - ] ( - )	[ - ] ( - )	[ - ] ( - )
計			[ - ] ( - ) 100	[ - ] ( 1 ) 200			[ - ] ( 5 ) 300	[ - ] ( 12 ) 400		

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成25年度 入学者	100 人	6 人	平成25年度	0 人	0 人	進路変更(2人)、学生個人の心身に関する 事情(2人)、就学意欲の低下(1人)	6.00 %
			平成26年度	5 人	0 人		
			平成27年度	1 人	0 人		
			平成28年度	0 人	0 人		
平成26年度 入学者	100 人	1 人	平成26年度	1 人	0 人	一身上の都合(1人)	1.00 %
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
平成27年度 入学者	106 人	2 人	平成27年度	2 人	0 人	進路変更(1人)、学生個人の心身に関する 事情(1人)	1.89 %
			平成28年度	人	人		
平成28年度 入学者	103 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人		0 %
合 計	409 人	9 人					2.20 %

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他





科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
人体の構造と機能	解剖学Ⅰ	1前	1									兼1	
	解剖学Ⅱ	1後	1									兼1	
	生理学Ⅰ	1前	1									兼1	
	生理学Ⅱ	1後	1									兼1	
	生化学	1前	1									兼1	
	病理学	1前	1									兼1	
	臨床心理学	1後	1									兼2 兼1 平成25年9月、就任辞退のあった担当者の後任として兼任講師を採用(26) 担当者就任辞退(25) 1年次後期配当科目につき、平成25年9月兼任講師採用予定	
	発達心理学	1後	1									兼1	
	微生物学	1前	1									兼1	
	栄養学	1後	1									兼1	
	薬理学	1後	1				1					兼1 就任辞退のあった担当者の後任として兼任講師を採用(27)	
	疾病と治療	病態と治療Ⅰ(臓器疾患)	1後	1									兼7 兼8 兼4 就任辞退のため担当者を減(27) 講義内容の充実を図るため兼任講師を追加(25)
		病態と治療Ⅱ(全身システム疾患)	2前	1									兼6 兼4 講義内容の充実を図るため兼任講師を追加(26)
		病態と治療Ⅲ(運動器関連疾患)	2前	1									兼7 兼6 兼5 兼4 講義内容の充実を図るため兼任講師を追加(28) 講義内容の充実を図るため兼任講師を追加(27) 講義内容の充実を図るため兼任講師を追加(26)
病態と治療Ⅳ(産婦人科・小児科疾患)		2前	1				1					兼2 兼4 講義内容の充実を図るため兼任講師を追加(28) 担当者病気療養のため、教員を減(26)	
病態と治療Ⅴ(精神・神経系疾患)		2後	1									兼6 兼4 講義内容の充実を図るため兼任講師を追加(26)	
病態と治療Ⅵ(検査・麻酔・臨床工学)		2後	1									兼3 兼5 兼4 就任辞退のため担当者を減(27) 講義内容の充実を図るため兼任講師を追加(26)	
リハビリテーション		2後	1									兼2 兼3 兼4 就任辞退のため担当者を減(28) 講義内容の充実を図るため兼任講師を追加(26)	
看護学	看護学入門	1前	1				1 1	1 1				兼4 平成26年度に就任辞退のあった担当者2名について、教授1名、准教授1名を補充(27) 担当 中原るり子(教授) 平成26年9月 教員審査済 判定可 担当 中村昌子(准教授) 平成27年1月 教員審査済 判定可 担当者の就任辞退のため、教員を減。後任については、平成26年6月専任教員採用等設置計画変更書提出予定(26) 准教授1名について、平成26年度までは兼任講師として担当のため(25)	
	看護学概論	1前	2				2 2					兼2 平成26年度に就任辞退のあった担当者2名について、教授2名を補充(27) 担当 中原るり子(教授) 平成26年9月 教員審査済 判定可 担当 山崎章恵(教授) 平成26年9月 教員審査済 判定可 担当者の就任辞退のため、担当者交代。後任については、平成26年6月専任教員採用等設置計画変更書提出予定(26)	
	コミュニケーション論	1後	1				2	1				担当者の就任辞退のため、教員を減。(26)	



科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
社会と医療	公衆衛生学	2前	1			3 +						<p>担当者として教授2名を補充し、兼任講師3名を減。(28)</p> <p>担当 高木廣文(教授) 平成27年11月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 河原智江(教授) 平成27年11月 教員審査済 判定可</p> <p>講義内容の充実を図るため兼任講師を追加(26)</p>
	ヘルスプロモーション	2前	1			3 2	+					<p>平成27年度に就任辞退のあった担当者1名について、教授1名を補充。(28)</p> <p>担当 高木廣文(教授) 平成27年11月 教員審査済 判定可</p> <p>講義内容の充実を図るため担当教員を追加。(26)</p> <p>担当 田中敦子(准教授) 平成26年1月 教員審査済 判定可</p>
	基礎看護技術論 I	1前	1			1 +	2 +	1		1	兼+	<p>平成27年度に就任辞退のあった担当者1名について、講師1名を補充。(28)</p> <p>担当 山住康恵(講師) 平成27年11月 教員審査済 判定可</p> <p>平成26年度に就任辞退のあった担当者1名について、教授1名を補充し、准教授1名を追加。(27)</p> <p>担当 中原るり子(教授) 平成26年9月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 中村昌子(准教授) 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当者2名就任辞退につき、辞退のあった担当者の後任として、准教授1名を採用。他1名については、平成26年6月専任教員採用等設置計画変更書提出予定(26)</p> <p>担当 櫻井美奈(准教授) 平成26年1月 教員審査済 判定可</p> <p>准教授1名について、平成26年度までは兼任講師として担当のため(25)</p>
	基礎看護技術論 II	1後	1			1 +	2 +	1		1	兼+	<p>平成27年度に就任辞退のあった担当者1名について、講師1名を補充。(28)</p> <p>担当 山住康恵(講師) 平成27年11月 教員審査済 判定可</p> <p>平成26年度に就任辞退のあった担当者1名について、教授1名を補充し、准教授1名を追加。(27)</p> <p>担当 中原るり子(教授) 平成26年9月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 中村昌子(准教授) 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当者2名就任辞退につき、辞退のあった担当者の後任として、准教授1名を採用。他1名については、平成26年6月専任教員採用等設置計画変更書提出予定(26)</p> <p>担当 櫻井美奈(准教授) 平成26年1月 教員審査済 判定可</p> <p>准教授1名について、平成26年度までは兼任講師として担当のため(25)</p>

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手			
	基礎看護技術論Ⅲ	2後	1			1 +	2 + 2	1			1	兼1	<p>平成27年度に就任辞退のあった担当者1名について、講師1名を補充。(28)</p> <p>担当 山住康恵(講師) 平成27年11月 教員審査済 判定可</p> <p>平成26年度に就任辞退のあった担当者1名について、教授1名を補充し、准教授1名を追加。(27)</p> <p>担当 中原るり子(教授) 平成26年9月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 中村昌子(准教授) 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当者2名就任辞退につき、辞退のあった担当者の後任として、准教授1名を採用。他1名については、平成26年6月専任教員採用等設置計画変更書提出予定(26)</p> <p>担当 櫻井美奈(准教授) 平成26年1月 教員審査済 判定可</p> <p>准教授1名について、平成26年度までは兼任講師として担当のため(25)</p>
	日常生活援助技術論Ⅰ	1前	1			1 +	2 + 2	1			1	兼1	<p>平成27年度に就任辞退のあった担当者1名について、講師1名を補充。(28)</p> <p>担当 山住康恵(講師) 平成27年11月 教員審査済 判定可</p> <p>平成26年度に就任辞退のあった担当者1名について、教授1名を補充し、准教授1名を追加。(27)</p> <p>担当 中原るり子(教授) 平成26年9月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 中村昌子(准教授) 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当者2名就任辞退につき、辞退のあった担当者の後任として、准教授1名を採用。他1名については、平成26年6月専任教員採用等設置計画変更書提出予定(26)</p> <p>担当 櫻井美奈(准教授) 平成26年1月 教員審査済 判定可</p> <p>准教授1名について、平成26年度までは兼任講師として担当のため(25)</p>

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
	日常生活援助技術論Ⅱ	1後	1			1 +	2 + 2	1		1	兼1	<p>平成27年度に就任辞退のあった担当者1名について、講師1名を補充。(28)</p> <p>担当 山住康恵 (講師) 平成27年11月 教員審査済 判定可</p> <p>平成26年度に就任辞退のあった担当者1名について、教授1名を補充し、准教授1名を追加。(27)</p> <p>担当 中原るり子 (教授) 平成26年9月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 中村昌子 (准教授) 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当者2名就任辞退につき、辞退のあった担当者の後任として、准教授1名を採用。他1名については、平成26年6月専任教員採用等設置計画変更書提出予定 (26)</p> <p>担当 櫻井美奈 (准教授) 平成26年1月 教員審査済 判定可</p> <p>准教授1名について、平成26年度までは兼任講師として担当のため (25)</p>
	日常生活援助技術論Ⅲ	1後	1			1 +	2 + 2	1		1	兼1	<p>平成27年度に就任辞退のあった担当者1名について、講師1名を補充。(28)</p> <p>担当 山住康恵 (講師) 平成27年11月 教員審査済 判定可</p> <p>平成26年度に就任辞退のあった担当者1名について、教授1名を補充し、准教授1名を追加。(27)</p> <p>担当 中原るり子 (教授) 平成26年9月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 中村昌子 (准教授) 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当者2名就任辞退につき、辞退のあった担当者の後任として、准教授1名を採用。他1名については、平成26年6月専任教員採用等設置計画変更書提出予定 (26)</p> <p>担当 櫻井美奈 (准教授) 平成26年1月 教員審査済 判定可</p> <p>准教授1名について、平成26年度までは兼任講師として担当のため (25)</p>

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手			
	回復促進援助技術論Ⅰ	1後	1			1 +	2 + +	1			1	兼+	<p>平成27年度に就任辞退のあった担当者1名について、講師1名を補充。(28)</p> <p>担当 山住康恵 (講師) 平成27年11月 教員審査済 判定可</p> <p>平成26年度に就任辞退のあった担当者1名について、教授1名を補充し、准教授1名を追加。(27)</p> <p>担当 中原るり子 (教授) 平成26年9月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 中村昌子 (准教授) 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当者1名就任辞退。後任については、平成26年6月専任教員採用等設置計画変更書提出予定。また、准教授1名を補充。(26)</p> <p>担当 櫻井美奈 (准教授) 平成26年1月 教員審査済 判定可</p> <p>准教授1名について、平成26年度までは兼任講師として担当のため(25)</p>
	回復促進援助技術論Ⅱ	2前	1			1 +	2 + +	1			1	兼+	<p>平成27年度に就任辞退のあった担当者1名について、講師1名を補充。(28)</p> <p>担当 山住康恵 (講師) 平成27年11月 教員審査済 判定可</p> <p>平成26年度に就任辞退のあった担当者1名について、教授1名を補充し、准教授1名を追加。(27)</p> <p>担当 中原るり子 (教授) 平成26年9月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 中村昌子 (准教授) 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当者1名就任辞退。後任については、平成26年6月専任教員採用等設置計画変更書提出予定。また、准教授1名を補充。(26)</p> <p>担当 櫻井美奈 (准教授) 平成26年1月 教員審査済 判定可</p> <p>准教授1名について、平成26年度までは兼任講師として担当のため(25)</p>

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
												<p>平成27年度に就任辞退のあった担当者9名について、講師3名、助教3名を補充。(28)</p> <p>担当 山住康恵(講師) 平成27年11月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 荒木亜紀(講師) 平成28年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 西崎未和(講師) 平成27年11月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 丹後キヌ子(助教) 平成28年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 富崎悦子(助教) 平成28年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 向井京子(助教) 平成27年11月 教員審査済 判定可</p>
	基礎看護学実習 I	1前	1			1 1	4 5 3 1 2	3 4 5 6	4 6	兼1	<p>平成26年度に就任辞退のあった担当者1名について、教授1名を補充し、准教授1名を追加。また、助教3名就任辞退のため、助教3名を補充。講師1名は准教授に職位変更。(27)</p> <p>担当 中原るり子(教授) 平成26年9月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 中村昌子(准教授) 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 西田志穂(准教授) 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 矢口菜穂(助教) 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 佐藤京子(助教) 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 小野美香子(助教) 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>平成25年度履行状況報告時の就任辞退に関しては、平成25年10月後任採用済み。その後、担当者3名就任辞退につき、辞退のあった担当者の後任として、准教授2名を採用。他1名については、平成26年6月専任教員採用等設置計画変更書提出予定(26)</p> <p>担当 和田佳子(准教授) 平成25年7月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 櫻井美奈(准教授) 平成26年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 田中敦子(准教授) 平成26年1月 教員審査済 判定可</p> <p>講師は、就任辞退のため減。後任については、平成25年6月専任教員採用等設置計画変更書提出予定。また、准教授1名について、平成26年度までは兼任講師として担当。(25)</p>	

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
												<p>平成27年度に就任辞退のあった担当者9名について、講師3名、助教3名を補充。(28)</p> <p>担当 山住康恵(講師) 平成27年11月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 荒木亜紀(講師) 平成28年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 西崎未和(講師) 平成27年11月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 丹後キヌ子(助教) 平成28年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 富崎悦子(助教) 平成28年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 向井京子(助教) 平成27年11月 教員審査済 判定可</p>
	基礎看護学実習Ⅱ	2後	2			1 1	4 5 3 1 2	3 4 5 6	4 6	兼1	<p>平成26年度に就任辞退のあった担当者1名について、教授1名を補充し、准教授1名を追加。また、助教3名就任辞退のため、助教3名を補充。講師1名は准教授に職位変更。(27)</p> <p>担当 中原るり子(教授) 平成26年9月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 中村昌子(准教授) 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 西田志穂(准教授) 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 矢口菜穂(助教) 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 佐藤京子(助教) 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 小野美香子(助教) 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>平成25年度履行状況報告時の就任辞退に関しては、平成25年10月後任採用済み。その後、担当者3名就任辞退につき、辞退のあった担当者の後任として、准教授2名を採用。他1名については、平成26年6月専任教員採用等設置計画変更書提出予定(26)</p> <p>担当 和田佳子(准教授) 平成25年7月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 櫻井美奈(准教授) 平成26年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 田中敦子(准教授) 平成26年1月 教員審査済 判定可</p> <p>講師は、就任辞退のため減。後任については、平成25年6月専任教員採用等設置計画変更書提出予定。また、准教授1名について、平成26年度までは兼任講師として担当。(25)</p>	

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
	成人看護学概論	1後	1			2 ↓ 1 ↓ 2						<p>平成26年度に就任辞退のあった担当者1名について、教授1名を補充。 (27)</p> <p>〔担当 山崎章恵(教授) 平成27年1月 教員審査済 判定可〕</p> <p>担当者の就任辞退のため、教員を減。後任については、平成26年6月専任教員採用等設置計画変更書提出予定 (26)</p>
	成人看護学援助論Ⅰ	2前	1			1 ↓	1				1	<p>平成27年度に就任辞退のあった担当者1名について、准教授1名を補充。 (28)</p> <p>〔担当 大山真貴子(准教授) 平成27年11月 教員審査済 判定可〕</p> <p>平成26年度に就任辞退のあった担当者1名について、教授1名を補充。 (27)</p> <p>〔担当 山崎章恵(教授) 平成27年1月 教員審査済 判定可〕</p> <p>担当者の就任辞退のため、教員を減。後任については、平成26年6月専任教員採用等設置計画変更書提出予定 (26)</p>
	成人看護学援助論Ⅱ	2後	1			2 ↓ 1 ↓ 2	1				1	<p>平成27年度に就任辞退のあった担当者1名について、准教授1名を補充。 (28)</p> <p>〔担当 大山真貴子(准教授) 平成27年11月 教員審査済 判定可〕</p> <p>平成26年度に就任辞退のあった担当者1名について、教授1名を補充。 (27)</p> <p>〔担当 山崎章恵(教授) 平成27年1月 教員審査済 判定可〕</p> <p>担当者の就任辞退のため、教員を減。後任については、平成26年6月専任教員採用等設置計画変更書提出予定 (26)</p>
	成人看護学援助論Ⅲ	3前	1			1 ↓	1				1	<p>平成27年度に就任辞退のあった担当者1名について、准教授1名を補充。 (28)</p> <p>〔担当 大山真貴子(准教授) 平成27年11月 教員審査済 判定可〕</p> <p>平成26年度に就任辞退のあった担当者1名について、教授1名を補充。 (27)</p> <p>〔担当 山崎章恵(教授) 平成27年1月 教員審査済 判定可〕</p> <p>担当者の就任辞退のため、教員を減。後任については、平成26年6月専任教員採用等設置計画変更書提出予定 (26)</p>

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
専門 基幹 科目	成人看護学援助論IV	3前	1			2 + 2	1				1	<p>平成27年度に就任辞退のあった担当者1名について、准教授1名を補充。(28)</p> <p>担当 大山真貴子(准教授) 平成27年11月 教員審査済 判定可</p> <p>平成26年度に就任辞退のあった担当者1名について、教授1名を補充。(27)</p> <p>担当 山崎章恵(教授) 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当者の就任辞退のため、教員を減。後任については、平成26年6月専任教員採用等設置計画変更書提出予定(26)</p>
	成人看護学援助演習	3前	1			2 + 2	1				1	<p>平成27年度に就任辞退のあった担当者1名について、准教授1名を補充。(28)</p> <p>担当 大山真貴子(准教授) 平成27年11月 教員審査済 判定可</p> <p>平成26年度に就任辞退のあった担当者1名について、教授1名を補充。(27)</p> <p>担当 山崎章恵(教授) 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当者の就任辞退のため、教員を減。後任については、平成26年6月専任教員採用等設置計画変更書提出予定(26)</p>
	成人看護学実習 I	3後・4前	3			2 + 2	1			1 3	1	<p>平成27年度に就任辞退のあった担当者4名について、准教授1名、助教1名を補充。(28)</p> <p>担当 大山真貴子(准教授) 平成27年11月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 丹後キヌ子(助教) 平成28年1月 教員審査済 判定可</p> <p>平成26年度に就任辞退のあった担当者1名について、教授1名を補充。また、助教2名就任辞退のため、助教2名を補充。(27)</p> <p>担当 山崎章恵(教授) 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 矢口菜穂(助教) 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 佐藤京子(助教) 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当者の就任辞退のため、教員を減。後任については、平成26年6月専任教員採用等設置計画変更書提出予定(26)</p>

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	
	成人看護学実習Ⅱ	3後・4前	3			2 1 2	1		1 3	1	<p>平成27年度に就任辞退のあった担当者4名について、准教授1名、助教1名を補充。(28)</p> <p>担当 大山真貴子(准教授) 平成27年11月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 丹後キヌ子(助教) 平成28年1月 教員審査済 判定可</p> <p>平成26年度に就任辞退のあった担当者1名について、教授1名を補充。また、助教2名就任辞退のため、助教2名を補充。(27)</p> <p>担当 山崎章恵(教授) 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 矢口菜穂(助教) 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 佐藤京子(助教) 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当者の就任辞退のため、教員を減。後任については、平成26年6月専任教員採用等設置計画変更書提出予定(26)</p>
	高齢者看護学概論	1後	1			1	1				<p>平成27年度に就任辞退のあった担当者1名について、准教授1名を補充。(28)</p> <p>担当 菅原峰子(准教授) 平成27年11月 教員審査済 判定可</p> <p>講義内容の充実を図るため担当教員を追加。(26)</p> <p>担当 田中敦子(准教授) 平成26年1月 教員審査済 判定可</p>
	高齢者看護学援助論	2前	2			1	1	1		1	<p>平成27年度に就任辞退のあった担当者2名について、准教授1名、講師1名を補充。(28)</p> <p>担当 菅原峰子(准教授) 平成27年11月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 荒木亜紀(講師) 平成28年1月 教員審査済 判定可</p> <p>講義内容の充実を図るため担当教員を追加。(26)</p> <p>担当 田中敦子(准教授) 平成26年1月 教員審査済 判定可</p>
	高齢者看護学援助演習	2後	1			1	1	1		1	<p>平成27年度に就任辞退のあった担当者2名について、准教授1名、講師1名を補充。(28)</p> <p>担当 菅原峰子(准教授) 平成27年11月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 荒木亜紀(講師) 平成28年1月 教員審査済 判定可</p> <p>講義内容の充実を図るため担当教員を追加。(26)</p> <p>担当 田中敦子(准教授) 平成26年1月 教員審査済 判定可</p>

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	
専 門 教 育 科	高齢者看護学実習Ⅰ	3前	1			1	1	1 2	1	1	<p>平成27年度に就任辞退のあった担当者2名について、准教授1名、講師1名を補充。(28)</p> <p>担当 菅原峰子(准教授) 平成27年11月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 荒木亜紀(講師) 平成28年1月 教員審査済 判定可</p> <p>助教1名就任辞退のため、教員(助教1名)を補充。(27)</p> <p>担当 小野美香子(助教) 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当者就任辞退のため、教員を補充。(26)</p> <p>担当 田中敦子(准教授) 平成26年1月 教員審査済 判定可</p>
	高齢者看護学実習Ⅱ	3後・4前	1			1	1	1 2	1	1	<p>平成27年度に就任辞退のあった担当者2名について、准教授1名、講師1名を補充。(28)</p> <p>担当 菅原峰子(准教授) 平成27年11月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 荒木亜紀(講師) 平成28年1月 教員審査済 判定可</p> <p>助教1名就任辞退のため、教員(助教1名)を補充。(27)</p> <p>担当 小野美香子(助教) 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当者就任辞退のため、教員を補充。(26)</p> <p>担当 田中敦子(准教授) 平成26年1月 教員審査済 判定可</p>
	高齢者看護学実習Ⅲ	3後・4前	2			1	1	1 2	1	1	<p>平成27年度に就任辞退のあった担当者2名について、准教授1名、講師1名を補充。(28)</p> <p>担当 菅原峰子(准教授) 平成27年11月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 荒木亜紀(講師) 平成28年1月 教員審査済 判定可</p> <p>助教1名就任辞退のため、教員(助教1名)を補充。(27)</p> <p>担当 小野美香子(助教) 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当者就任辞退のため、教員を補充。(26)</p> <p>担当 田中敦子(准教授) 平成26年1月 教員審査済 判定可</p>
	小児看護学概論	2前	1			1	1				<p>平成27年度に就任辞退のあった担当者1名について、教授1名を補充し、准教授1名を追加。(28)</p> <p>担当 津波古澄子(教授) 平成27年11月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 西田志穂(准教授) 平成27年11月 教員審査済 判定可</p>

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
目	小児看護学援助論	2後	2			1	1	4			1	平成27年度に就任辞退のあった担当者1名について、教授1名を補充。(28) 担当 津波古澄子(教授) 平成27年11月 教員審査済 判定可 講師1名について、准教授に職位変更。(27) 担当 西田志穂(准教授) 平成27年1月 教員審査済 判定可
	小児看護学援助演習	3前	1			1	1	4			1	平成27年度に就任辞退のあった担当者1名について、教授1名を補充。(28) 担当 津波古澄子(教授) 平成27年11月 教員審査済 判定可 講師1名について、准教授に職位変更。(27) 担当 西田志穂(准教授) 平成27年1月 教員審査済 判定可
	小児看護学実習	3後・4前	2			1	1	4	1	1		平成27年度に就任辞退のあった担当者2名について、教授1名、助教1名を補充。(28) 担当 津波古澄子(教授) 平成27年11月 教員審査済 判定可 担当 富崎悦子(助教) 平成28年1月 教員審査済 判定可 講師1名について、准教授に職位変更。(27)
	母性看護学概論	2前	1			1						
	母性看護学援助論	2後	2			1	2 ↓	4			1	平成25年度履行状況報告時の就任辞退に関しては、平成25年10月後任採用済み。(26) 担当 和田佳子(准教授) 平成25年7月 教員審査済 判定可 就任辞退のため減。後任については、平成25年6月専任教員採用等設置計画変更書提出予定(25)
	母性看護学援助演習	3前	1			1	2 ↓	4			1	平成25年度履行状況報告時の就任辞退に関しては、平成25年10月後任採用済み。(26) 担当 和田佳子(准教授) 平成25年7月 教員審査済 判定可 就任辞退のため減。後任については、平成25年6月専任教員採用等設置計画変更書提出予定(25)
	母性看護学実習	3後・4前	2			1	2 ↓	4				平成25年度履行状況報告時の就任辞退に関しては、平成25年10月後任採用済み。(26) 担当 和田佳子(准教授) 平成25年7月 教員審査済 判定可 就任辞退のため減。後任については、平成25年6月専任教員採用等設置計画変更書提出予定(25)
	精神看護学概論	2前	1			1						
	精神看護学援助論	2後	2			1	1				1	平成27年度に就任辞退のあった担当者1名について、准教授1名を補充。(28) 担当 渡邊敦子(准教授) 平成28年1月 教員審査済 判定可
	精神看護学援助演習	3前	1			1	1				1	平成27年度に就任辞退のあった担当者1名について、准教授1名を補充。(28) 担当 渡邊敦子(准教授) 平成28年1月 教員審査済 判定可

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
	精神看護学実習	3後・4前	2			1	1			1		<p>平成27年度に就任辞退のあった担当者2名について、准教授1名、講師1名を補充。(28)</p> <p>担当 渡邊敦子(准教授) 平成28年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 向井京子(助教) 平成27年11月 教員審査済 判定可</p>
	在宅看護概論	2後 2前	1			2 ↓						<p>講義内容の充実を図るため、担当教員を追加。(28)</p> <p>担当 河原智江(教授) 平成27年11月 教員審査済 判定可</p> <p>教育効果を高めるため、「地域看護学概論」とあわせ、配当時期を変更(26)</p>
	在宅看護学援助論	3前	2			2		1			1	<p>平成27年度に就任辞退のあった担当者2名について、教授1名、講師1名を補充。(28)</p> <p>担当 河原智江(教授) 平成27年11月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 西崎未和(講師) 平成27年11月 教員審査済 判定可</p>
	在宅看護学援助演習	3前	1			2		1			1	<p>平成27年度に就任辞退のあった担当者2名について、教授1名、講師1名を補充。(28)</p> <p>担当 河原智江(教授) 平成27年11月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 西崎未和(講師) 平成27年11月 教員審査済 判定可</p>
	在宅看護論実習Ⅰ	3後・4前	1			2		1				<p>平成27年度に就任辞退のあった担当者2名について、教授1名、講師1名を補充。(28)</p> <p>担当 河原智江(教授) 平成27年11月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 西崎未和(講師) 平成27年11月 教員審査済 判定可</p>
	在宅看護論実習Ⅱ	3後・4前	1			2		1				<p>平成27年度に就任辞退のあった担当者2名について、教授1名、講師1名を補充。(28)</p> <p>担当 河原智江(教授) 平成27年11月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 西崎未和(講師) 平成27年11月 教員審査済 判定可</p>
	地域看護学概論	2前 2後	1			2 ↓						<p>講義内容の充実を図るため、担当教員を追加。(28)</p> <p>担当 河原智江(教授) 平成27年11月 教員審査済 判定可</p> <p>教育効果を高めるため、「在宅看護概論」とあわせ、配当時期を変更(26)</p>
	地域看護学援助演習	3前	1			2 ↓		↓			1	<p>平成27年度に就任辞退のあった担当者1名について、教授1名を補充。(28)</p> <p>担当 河原智江(教授) 平成27年11月 教員審査済 判定可</p> <p>担当教員を追加。(27)</p> <p>担当 西留美子(講師) 平成26年9月 教員審査済 判定可</p>

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
												<p>平成27年度に就任辞退のあった担当者13名について、教授2名、准教授3名、講師3名、助教3名を補充。(28)</p> <p>担当 津波古澄子(教授) 平成28年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 河原智江(教授) 平成28年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 大山真貴子(准教授) 平成27年11月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 菅原峰子(准教授) 平成27年11月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 渡邊敦子(准教授) 平成28年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 山住康恵(講師) 平成27年11月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 荒木亜紀(講師) 平成28年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 西崎未和(講師) 平成27年11月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 丹後キヌ子(助教) 平成28年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 富崎悦子(助教) 平成28年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 向井京子(助教) 平成27年11月 教員審査済 判定可</p>
	総合技術演習 (OSCE) I	3前	1			9 & 10	8 7 5	3 4 5 6	4 6	1	<p>平成26年度に就任辞退のあった2名については、教授2名を補充。その後、担当者2名の就任辞退があり、うち1名は准教授を補充、他1名は、他の専任教員がおり支障がないため、補充なし。講師1名は准教授に職位変更。また、担当者(助教6名)を追加。(27)</p> <p>担当 中原るり子(教授) 平成26年9月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 山崎章恵(教授) 平成26年9月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 中村昌子(准教授) 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 西田志穂(准教授) 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 石渡智恵美(助教) 平成26年9月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 矢口菜穂(助教) 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 佐藤京子(助教) 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 小野美香子(助教) 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 甲斐恭子(助教) 平成26年9月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 石田 徹(助教) 平成26年9月 教員審査済 判定可</p>	

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
												<p>平成25年度履任状況報告時の就任辞退に関しては、平成25年10月後任採用済み。その後、別途就任辞退があった担当者4名のうち、2名を補充。他2名の後任については、平成26年6月専任教員採用等設置計画変更書提出予定（26）</p> <p>担当 和田佳子（准教授） 平成25年7月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 櫻井美奈（准教授） 平成26年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 田中敦子（准教授） 平成26年1月 教員審査済 判定可</p> <p>就任辞退のため減。後任については、平成25年6月専任教員採用等設置計画変更書提出予定（25）</p>
	医療の英語Ⅰ	2・3・4 前		1								兼1
	医療の英語Ⅱ	2・3・4 前		1								兼1
	障害者医療論	2・3・4 後		1								兼1
	障害者コミュニケーション	2・3・4 後		1								兼1
	臨床薬理学	2・3・4 後		1		4						兼1
	カウンセリング	3・4 前		1		1						
	国際看護論	3→4 後		1		1						兼1
												<p>平成27年度に就任辞退のあった担当者1名について、教授1名を補充。（28）</p> <p>担当 高木廣文（教授） 平成27年11月 教員審査済 判定可</p> <p>教育効果を高めるため、配当年次を変更。（27）</p>
	クリティカルケア	3→4 後		1		2 1	1	1				
												<p>講義内容の充実を図るため、担当教員を追加。（28）</p> <p>担当 菅原峰子（准教授） 平成27年11月 教員審査済 判定可</p> <p>教育効果を高めるため、配当年次を変更。また、講師1名を准教授に職位変更。（27）</p> <p>担当 西田志穂（准教授） 平成27年1月 教員審査済 判定可</p>
	ケースマネジメント	3→4 前		1		3	4	1				
												<p>平成27年度に就任辞退のあった担当者2名について、教授1名、講師1名を補充。（28）</p> <p>担当 河原智江（教授） 平成27年11月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 西崎未和（講師） 平成27年11月 教員審査済 判定可</p> <p>教育効果を高めるため、配当年次を変更。（27）</p> <p>講義内容の充実を図るため担当教員を追加。（26）</p> <p>担当 田中敦子（准教授） 平成26年1月 教員審査済 判定可</p>
	地域保健・産業保健	3・4 後		1		1						
	看護と芸術	3→4 後		1		1	1					
												<p>平成27年度に就任辞退のあった担当者1名について、教授1名、准教授1名を補充。（28）</p> <p>担当 津波古 澄子（教授） 平成27年11月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 藤井智恵美（准教授） 平成27年11月 教員審査済 判定可</p> <p>教育効果を高めるため、配当年次を変更。（27）</p>

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
	緩和ケア・終末期ケア	3・4 後		1		1 2						平成27年度担当者1名就任辞退のため担当者を減。当該科目については、他の専任教員1名が担当するため支障なし。(28) 教育効果を高めるため、配当年次を変更。(27)
	多職種連携論	3・4 後		1		4 3						兼3 講義内容の充実を図るため、担当教員を追加。(28) 担当 河原智江(教授) 平成27年11月 教員審査済 判定可 教育効果を高めるため、配当年次を変更。(27)
	家族看護学	3・4 後		1		4						兼1 平成27年度に就任辞退のあった担当者1名について、兼任講師を補充。(28)
	医療安全	3・4 前		1		1	1	4				兼1 講義内容の充実を図るため担当教員を追加。また、講師1名を准教授に職位変更。(27) 担当 中原るり子(教授) 平成26年9月 教員審査済 判定可 担当 西田志穂(准教授) 平成27年1月 教員審査済 判定可
	継続看護	3・4 後		1		1		1				平成27年度に就任辞退のあった担当者2名について、教授1名、講師1名を補充。(28) 担当 河原智江(教授) 平成27年11月 教員審査済 判定可 担当 西崎未和(講師) 平成27年11月 教員審査済 判定可
	災害看護論	3・4 前		1		2	1					兼1 平成27年度に就任辞退のあった担当者2名について、准教授1名、兼任講師1名を補充。(28) 担当 西田志穂(准教授) 平成27年11月 教員審査済 判定可
	看護管理学	3・4 前		1		1						兼1 教育効果を高めるため、配当年次を変更。(27) 講義内容の充実を図るため担当教員を追加。(27) 担当 中原るり子(教授) 平成26年9月 教員審査済 判定可
	医療政策論	3・4 後		1								兼1 教育効果を高めるため、配当年次を変更。(27)
	看護教育学	3・4 後		1		1 2		4				平成27年度に就任辞退のあった担当者1名について、教授1名を補充。(28) 担当 津波古 澄子(教授) 平成27年11月 教員審査済 判定可 教育効果を高めるため、配当年次を変更。担当者2名の就任辞退があったが、他に担当者(教授1名)がおり、支障がないため、担当者を減。(27)
	看護専門職論	3・4 前		1		2						平成27年度に就任辞退のあった担当者1名について、教授1名を補充。(28) 担当 津波古 澄子(教授) 平成27年11月 教員審査済 判定可 教育効果を高めるため、配当年次を変更。(27)

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
	先端医療と看護	3-4 前後		1		1						兼4 担当教員就任辞退のため、兼任講師4名を補充。(28) 教育効果を高めるため、配当年次を変更。また、担当教員就任辞退のため、平成28年9月後任補充予定。(27)
	看護学総合演習	4前	1			9 7 9	8 7 5	3 4 5 6	4 5	1	<p>平成27年度に就任辞退のあった担当者13名について、教授2名、准教授3名、講師3名、助教3名を補充。(28)</p> <p>担当 津波古澄子 (教授) 平成28年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 河原智江 (教授) 平成28年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 大山真貴子 (准教授) 平成27年11月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 菅原峰子 (准教授) 平成27年11月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 渡邊敦子 (准教授) 平成28年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 山住康恵 (講師) 平成27年11月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 荒木亜紀 (講師) 平成28年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 西崎未和 (講師) 平成27年11月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 丹後キヌ子 (助教) 平成28年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 富崎悦子 (助教) 平成28年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 向井京子 (助教) 平成27年11月 教員審査済 判定可</p> <p>平成26年度に就任辞退のあった2名については、教授2名を補充。その後、担当者2名の就任辞退があり、うち1名は准教授を補充、他1名は、他の専任教員がおり、支障がないため補充なし。講師1名は准教授に職位変更。また、担当者(助教6名)を追加。(27)</p> <p>担当 中原るり子 (教授) 平成26年9月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 山崎章恵 (教授) 平成26年9月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 中村昌子 (准教授) 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 西田志穂 (准教授) 平成27年1月 教員審査済 判定可</p>	

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数				専任教員等の配置					備 考
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
専門 展開 科目												<p>担当 矢口菜穂 (助教) 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 佐藤京子 (助教) 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 小野美香子 (助教) 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 甲斐恭子 (助教) 平成26年9月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 石田 徹 (助教) 平成26年9月 教員審査済 判定可</p> <p>平成25年度履行状況報告時の就任辞退に関しては、平成25年10月後任採用済み。その後、別途就任辞退があった担当者4名のうち、2名を補充。他2名の後任については、平成26年6月専任教員採用等設置計画変更書提出予定 (26)</p> <p>担当 和田佳子 (准教授) 平成25年7月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 櫻井美奈 (准教授) 平成26年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 田中敦子 (准教授) 平成26年1月 教員審査済 判定可</p> <p>就任辞退のため減。後任については、平成25年6月専任教員採用等設置計画変更書提出予定 (25)</p>
												<p>平成27年度に就任辞退のあった担当者13名について、教授2名、准教授3名、講師3名、助教3名を補充。 (28)</p> <p>担当 津波古澄子 (教授) 平成28年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 河原智江 (教授) 平成28年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 大山真貴子 (准教授) 平成27年11月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 菅原峰子 (准教授) 平成27年11月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 渡邊敦子 (准教授) 平成28年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 山住康恵 (講師) 平成27年11月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 荒木亜紀 (講師) 平成28年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 西崎未和 (講師) 平成27年11月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 丹後キヌ子 (助教) 平成28年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 富崎悦子 (助教) 平成28年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 向井京子 (助教) 平成27年11月 教員審査済 判定可</p>

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	
	看護学総合実習	4後	2			9 7 9	8 7 5	3 4 5 6		4 6	<p>平成26年度に就任辞退のあった2名については、教授2名を補充。その後、担当者2名の就任辞退があり、うち1名は准教授を補充、他1名は、他の専任教員がおり支障がないため補充なし。講師1名は准教授に職位変更。また、担当者（助教5名）を追加。（27）</p> <p>担当 中原るり子（教授） 平成26年9月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 山崎章恵（教授） 平成26年9月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 中村昌子（准教授） 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 西田志穂（准教授） 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 石渡智恵美（助教） 平成26年9月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 矢口菜穂（助教） 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 佐藤京子（助教） 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 小野美香子（助教） 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 甲斐恭子（助教） 平成26年9月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 石田 徹（助教） 平成26年9月 教員審査済 判定可</p> <p>平成25年度履行状況報告時の就任辞退に関しては、平成25年10月後任採用済み。その後、別途就任辞退があった担当者4名のうち、2名を補充。他2名の後任については、平成26年6月専任教員採用等設置計画変更書提出予定（26）</p> <p>担当 和田佳子（准教授） 平成25年7月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 櫻井美奈（准教授） 平成26年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 田中敦子（准教授） 平成26年1月 教員審査済 判定可</p> <p>就任辞退のため減。後任については、平成25年6月専任教員採用等設置計画変更書提出予定（25）</p>

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
												<p>者13名について、教授2名、准教授3名、講師3名、助教3名を補充。 (28)</p> <p>担当 津波古澄子（教授） 平成28年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 河原智江（教授） 平成28年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 大山真貴子（准教授） 平成27年11月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 菅原峰子（准教授） 平成27年11月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 渡邊敦子（准教授） 平成28年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 山住康恵（講師） 平成27年11月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 荒木亜紀（講師） 平成28年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 西崎未和（講師） 平成27年11月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 丹後キヌ子（助教） 平成28年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 富崎悦子（助教） 平成28年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 向井京子（助教） 平成27年11月 教員審査済 判定可</p> <p>平成26年度に就任辞退のあった2名については、教授2名を補充。その後、担当者2名の就任辞退があり、うち1名は准教授を補充、他1名は、他の専任教員がおり支障がないため補充なし。講師1名は准教授に職位変更。また、担当者（助教6名）を追加。（27）</p> <p>担当 中原るり子（教授） 平成26年9月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 山崎章恵（教授） 平成26年9月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 中村昌子（准教授） 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 西田志穂（准教授） 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 石渡智恵美（助教） 平成26年9月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 矢口菜穂（助教） 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 佐藤京子（助教） 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 小野美香子（助教） 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 甲斐恭子（助教） 平成26年9月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 石田 徹（助教） 平成26年9月 教員審査済 判定可</p>
	総合技術演習（OSCE）Ⅱ	4後	1			9 8 10	8 7 5	3 4 5 6	4 6	1		

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
												<p>平成25年度履行状況報告時の就任辞退に関しては、平成25年10月後任採用済み。その後、別途就任辞退があった担当者4名のうち、2名を補充。他2名の後任については、平成26年6月専任教員採用等設置計画変更書提出予定（26）</p> <p>担当 和田佳子（准教授） 平成25年7月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 櫻井美奈（准教授） 平成26年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 田中敦子（准教授） 平成26年1月 教員審査済 判定可</p> <p>就任辞退のため減。後任については、平成25年6月専任教員採用等設置計画変更書提出予定（25）</p>
看護研究	看護研究法 I	3前	1			10 7 9	1 2					<p>平成27年度に就任辞退のあった担当者2名について、教授3名を補充。（28）</p> <p>担当 高木 廣文（教授） 平成27年11月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 津波古 澄子（教授） 平成27年11月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 河原智江（教授） 平成27年11月 教員審査済 判定可</p> <p>平成26年度に就任辞退のあった担当者2名について、教授2名を補充。また、准教授1名の就任辞退があったが、他の教員が担当するため、補充なし。（27）</p> <p>担当 中原るり子（教授） 平成26年9月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 山崎章恵（教授） 平成26年9月 教員審査済 判定可</p> <p>担当者の就任辞退のため、教員を減。後任については、平成26年6月専任教員採用等設置計画変更書提出予定（26）</p>
												<p>平成27年度に就任辞退のあった担当者5名について、教授3名、准教授4名、講師3名を補充。（28）</p> <p>担当 高木廣文（教授） 平成27年11月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 津波古 澄子（教授） 平成27年11月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 河原智江（教授） 平成27年11月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 大山真貴子（准教授） 平成27年11月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 菅原峰子（准教授） 平成27年11月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 西田志穂（准教授） 平成27年11月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 渡邊敦子（准教授） 平成28年1月 教員審査済 判定可</p>

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
看護研究	看護研究法Ⅱ	4通	2			10 9 7 9	8 7 5	3			<p>担当 山住康恵（講師） 平成27年11月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 荒木亜紀（講師） 平成28年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 西崎未和（講師） 平成27年11月 教員審査済 判定可</p> <p>平成26年度に就任辞退のあった担当者2名について、教授2名を補充。また、准教授1名の就任辞退があったが、他の教員が担当するため、補充なし。（27）</p> <p>担当 中原るり子（教授） 平成26年9月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 山崎章恵（教授） 平成26年9月 教員審査済 判定可</p> <p>平成25年10月、担当者を1名追加。その後、担当者3名の就任辞退があり、うち1名について後任を採用するとともに、担当者を1名追加。他2名については、平成26年6月専任教員採用等設置計画変更書提出予定。（26）</p> <p>担当 櫻井美奈（准教授） 平成26年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 田中敦子（准教授） 平成26年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 和田佳子（准教授） 平成25年7月 教員審査済 判定可</p>

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成27年度に認可（届出）された大学等は設置認可（届出）時）より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
  - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
  - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）
  - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度認可以前）についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 83	科目 103	科目 0	科目 186	科目 83	科目 105	科目 0	科目 188	
				[ 0 ]	[ 2 ]	[ 0 ]	[ 2 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	特になし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	分野別英語	2	2・3・4通	一般	選択	履修者僅少のため廃止し、他の語学科目（基礎アラビア語Ⅰ、基礎アラビア語Ⅱ）を充実した。
2	体育	2	1・2通	一般	選択	通年2単位科目として開設していた「体育」を、半期1単位科目の「健康スポーツ実習A」と「健康スポーツ実習B」に変更し、前後期に開講することにより、学生の学修機会を充実するとともに、多様な種目設定により授業を展開し、学修ニーズに対応した。
3	応用ロシア語（総合）	2	2・3・4通	一般	選択	履修者僅少のため廃止。「基礎ロシア語（入門）」のみ開講する。

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

科目の廃止は、教養教育科目に係るものである。今回の教養教育科目の変更については、近年の社会環境の変化に対応し、教養教育科目の充実を図るためのものである。第一に、多様な言語に触れる機会を増やしコミュニケーション能力の養成を充実することを目的として、履修者僅少の「分野別英語」を廃止する一方、「基礎アラビア語Ⅰ」「基礎アラビア語Ⅱ」を新設した。第二に、体育関係の科目について、学生の多様な学修ニーズに対応し、豊富な学修機会を設けることを目的として、「体育」を廃止する一方、「健康スポーツ実習A」と「健康スポーツ実習B」を新設した。  
 学生に対しては、「履修ガイド」に記載するとともに、ガイダンス等で説明を行い、周知を図った。  
 履修者僅少のため、「応用ロシア語（総合）」を廃止した。ロシア語関係科目は「基礎ロシア語（入門）」があり、当該科目は一定の履修者数があることから、当該科目のみ開講する。学生に対しては、「履修ガイド」に記載するとともに、ガイダンス等で説明を行い、周知を図った。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{1.61\%}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考	
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体 <共用する他の学校> 共立女子短期大学 共立女子高等学校 (収容定員1,080名) 面積基準：運動場として 8,400㎡(中学校との共用可) 共立女子第二高等学校 (収容定員720名) 面積基準：運動場として 8,400㎡(中学校との併用可) 共立女子中学校 (収容定員960名) 面積基準：運動場として 8,400㎡ 共立女子第二中学校 (収容定員480名) 面積基準：運動場として 6,000㎡	
	校舎敷地	40,755㎡	11,760㎡	59,783㎡	112,298㎡		
	運動場用地	8,000㎡	3,000㎡	21,000㎡	32,000㎡		
	小 計	48,755㎡	14,760㎡	80,783㎡	144,298㎡		
	そ の 他	0㎡	96,453㎡	0㎡	96,453㎡		
	合 計	48,755㎡	111,213㎡	80,783㎡	240,751㎡		
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	<共用する学校等の名称> 共立女子短期大学 平成26年2月 建築等設置計画変更書提出済 (26)	
		24,963㎡ ( 24,963㎡)	31,427 37,451㎡ (31,427 37,451㎡)	1,965㎡ (1,965㎡)	58,355 64,379㎡ (58,355 64,379㎡)		
(3) 教 室 等		講 義 室 65 74室	演 習 室 36 39室	実験実習室 30 35室	情報処理学習施設 11室 (補助職員 7 人)	語学学習施設 3室 (補助職員 0 人)	大学全体 記載漏れ平成26年2月 建築等設置計画変更書提出済 (27)
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数		平成25年12月設置計画変更協議済 (26) 平成26年4月 専任准教授2名を新規採用のため (26) 平成28年1月設置計画変更協議済 専任講師3名を共同研究室から個人研究室に移行することに伴う増設 (28)	
		看護学部 看護学科		2 1 1 9 1 6		室	
(5) 新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	
	[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル [うち外国書]				
	冊	種	[うち外国書]				
図書・設備	看護学部看護学科	493,192 [136,174] (488,389 [135,394])	5,590 [1,020] (5,590 [1,020])	6,184 [6,133] (6,184 [6,133])	10,363 (10,108)	3,113 (3,113)	57 (57)
計		493,192 [136,174] (488,389 [135,394])	5,590 [1,020] (5,590 [1,020])	6,184 [6,133] ( 6,184 [6,133])	10,363 (10,108)	3,113 (3,113)	57 (57)
(6) 図 書 館		面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数		大学全体	
		9,871㎡	521	570,825			
(7) 体 育 館		面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要			大学全体	
		474 829㎡	該当なし			平成26年2月 建築等設置計画変更書提出済 (26)	
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
	教員1人当り研究費等	350千円	350千円	図書購入費	2,002千円	5,087千円	4,334千円
	共同研究費等	21,000千円	21,000千円	設備購入費	73,287千円	1,715 1,640千円	6,441千円
	学生1人当り納付金	第1年次 1,830千円	第2年次 1,680千円	第3年次 1,680千円	第4年次 1,680千円	第5年次 千円	第6年次 千円
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学経常費補助金、資産運用収入、雑収入等				
平成25年12月設置計画変更協議済 (26) 教員1人当りの研究費等について、助教は200千円 共同研究費等は、大学全体							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称		共立女子大学大学院							備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
家政学研究科	1	35	—	73		0.73	昭和55年度	東京都千代田区一ツ橋二丁目2番1号	文芸学研究科文芸学専攻は平成27年4月開設
被服学専攻	2	8	—	16	修士(家政学)	0.87	昭和55年度		
食物学専攻	2	8	—	16	修士(家政学)	0.12	昭和55年度		
建築・デザイン専攻	2	8	—	16	修士(家政学)	0.43	平成23年度		
児童学専攻	2	8	—	16	修士(家政学)	0.12	平成23年度		
人間生活学専攻	3	3	—	9	博士(学術)	0.99	平成6年度		
文芸学研究科	2	20	—	40	修士(文芸学)	0.32	昭和41年度		
文芸学専攻	2	20	—	40	修士(文芸学)	0.32	平成27年度		
国際学研究科	2	15	—	30	修士(学術)	0.16	平成23年度		
国際学専攻	2	15	—	30	修士(学術)	0.16	平成23年度		
大学の名称		共立女子大学							備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
家政学部	4	375	—	1,500	学士(家政学)		昭和24年	東京都千代田区一ツ橋二丁目2番1号	家政学部児童学科は平成27年4月より入学定員変更(100→150)
被服学科	4	90	—	360	学士(家政学)	1.12	昭和24年		
食物栄養学科	4	95	—	380	学士(家政学)	1.18	昭和41年		
食物学専攻	4	45	—	180	学士(家政学)	1.08	昭和41年		
管理栄養士専攻	4	50	—	200	学士(家政学)	1.28	昭和41年		
建築・デザイン学科	4	90	—	360	学士(家政学)	1.08	平成19年		
児童学科	4	150	—	500	学士(家政学)	1.05	平成19年		
文芸学部	4	350	—	1,400	学士(文芸学)	1.08	昭和28年		
文芸学科	4	350	—	1,400	学士(文芸学)	1.08	平成19年		
国際学部	4	250	—	1,000	学士(国際学)	1.13	平成19年		
国際学科	4	250	—	1,000	学士(国際学)	1.13	平成19年		
看護学部	4	100	—	400	学士(看護学)	1.02	平成25年	東京都八王子市元八王子町一丁目710番地	
看護学科	4	100	—	400	学士(看護学)	1.02	平成25年		
大学の名称		共立女子短期大学							備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
生活科学科	2	100	人	200	短期大学士(生活科学)	1.25	昭和25年	東京都千代田区一ツ橋二丁目2番1号	
文科	2	100		200	短期大学士(文科)	1.12	平成19年		

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科),

大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成27年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。

※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。

・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。

・AC対象学部等についても必ず記入してください。

・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。

・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<看護学部 看護学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画				変更状況				備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月		
専	教授(学部長)	大関 武彦	平成25年4月	兼任	講師	橋本 光正 大幡 久之	平成28年4月 平成27年4月	薬理学 薬理学	担当者の変更(28) 平成27年3月 大関武彦教授就任辞退のため、担当者の変更(27)
				兼任	講師	森 蘭子	平成27年4月	病態と治療Ⅳ(産婦人科・小児科疾患)	平成27年3月 大関武彦教授就任辞退のため、担当者の変更(27)
								総合技術演習(OSCE I)	平成27年3月 大関武彦教授就任辞退のため担当者を減。「総合技術演習(OSCE I)」は、他に担当者が26名いるため、支障ない。
				兼任	講師	橋本 光正 大幡 久之	平成28年4月 平成27年4月	臨床薬理学	担当者の変更(28) 平成27年3月 大関武彦教授就任辞退のため、担当者の変更(27)
				兼任	講師	倉沢 慧明	平成28年4月	先端医療と看護	担当者の変更(28)
				兼任	講師	添田 英津子	平成28年4月		
				兼任	講師	菅田 明裕	平成28年4月		
兼任	講師	水澤 久恵 後任未定	平成28年4月						
						総合技術演習(OSCE II)	平成27年3月 大関武彦教授就任のため担当者を減。「総合技術演習(OSCE I)」は、他に担当者が26名いるため、支障ない。		
兼任	教授	川久保 清	平成26年4月	健康の科学	大関武彦教授病氣加療。前期配当科目につき、担当者の変更(26)				
専	教授	高木 廣文	平成29年4月	健康の科学	担当者の追加。平成27年11月AC教員審査済。(28)				
専	教授	岩永 秀子	平成25年4月	専	教授	中原るり子 後任未定	平成27年4月	看護学入門	専任教員を補充。平成26年9月AC教員審査済(27) 平成26年3月 岩永秀子教授就任辞退(26) 平成26年9月または平成27年4月から専任教員採用予定で公募中。 「看護学入門」は他に担当教員が1名いるため、支障はない。
				専	教授	中原るり子	平成27年4月	看護学概論	専任教員を補充。平成26年9月AC教員審査済(27) 平成26年3月 岩永秀子教授就任辞退による担当者交代(26) 平成26年9月または平成27年4月から専任教員採用予定で公募中。
				兼任	講師	廣瀬 一信子	平成26年4月		
				専	教授	中原るり子 後任未定	平成27年4月	看護アセスメント論	専任教員を補充。平成26年9月AC教員審査済(27) 平成26年3月 岩永秀子教授就任辞退(26) 平成26年9月または平成27年4月から専任教員採用予定で公募中。 「看護アセスメント論」は他に担当教員が2名いるため、支障はない。
専	教授	中原るり子	平成27年4月	看護過程展開論	専任教員を補充し、担当者を変更。平成26年9月AC教員審査済(27) 平成26年3月 岩永秀子教授就任辞退による担当者交代(26) 平成26年9月または平成27年4月から専任教員採用予定で公募中。				
兼任	講師	廣瀬 一信子	平成26年4月						

専	教授	いなか しょうこ 岩永 秀子	平成25年4月	基礎看護技術論Ⅰ 基礎看護技術論Ⅱ 基礎看護技術論Ⅲ 日常生活援助技術論Ⅰ 日常生活援助技術論Ⅱ 日常生活援助技術論Ⅲ 回復促進援助技術論Ⅰ 回復促進援助技術論Ⅱ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 総合技術演習 (OSCE) 看護学総合演習 看護学総合実習 総合技術演習 (OSCE) Ⅱ 看護研究法Ⅰ 看護研究法Ⅱ	専	教授	なかの りんこ 中原るり子 後任未定	平成27年4月	基礎看護技術論Ⅰ 基礎看護技術論Ⅱ 基礎看護技術論Ⅲ 日常生活援助技術論Ⅰ 日常生活援助技術論Ⅱ 日常生活援助技術論Ⅲ 回復促進援助技術論Ⅰ 回復促進援助技術論Ⅱ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 総合技術演習 (OSCE) Ⅰ 看護学総合演習 看護学総合実習 総合技術演習 (OSCE) Ⅱ 看護研究法Ⅰ 看護研究法Ⅱ	専任教員を補充。平成26年9月AC教員審査済 (27) 平成26年3月 岩永秀子教授就任辞退 (26) 平成26年9月または平成27年4月から専任教員採用予定で公募中。 左記科目は、他に複数の担当教員がいるため、支援はない。
					専	教授	たかぎ ひろふみ 高木 廣文	平成28年4月	看護研究法Ⅰ 看護研究法Ⅱ	専任教員を補充。平成27年11月 AC教員審査済 (28)
専	教授	たかぎ ひろみ 高橋 博美	平成25年4月	看護学概論 看護過程展開論 成人看護学概論 成人看護学援助論Ⅰ 成人看護学援助論Ⅱ 成人看護学援助論Ⅲ 成人看護学援助論Ⅳ 成人看護学援助演習 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 総合技術演習 (OSCE) Ⅰ クリティカルケア 多職種連携論	専 兼任	教授 講師	やまがき ちか 山崎 章恵 きよふみ 矢野一幸永 後任未定	平成27年4月 平成26年4月	看護学概論 看護過程展開論 成人看護学概論 成人看護学援助論Ⅰ 成人看護学援助論Ⅱ 成人看護学援助論Ⅲ 成人看護学援助論Ⅳ 成人看護学援助演習 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 総合技術演習 (OSCE) Ⅰ クリティカルケア 多職種連携論	専任教員を補充し、担当者を変更。平成26年9月AC教員審査済 (27) 平成26年3月 高橋博美教授就任辞退による担当交代 (26) 平成26年9月または平成27年4月から専任教員採用予定で公募中。
				看護教育学			担当者の減 後任未定			平成26年9月および平成27年1月 担当候補者のAC教員審査不可。 「看護教育学」は、他に担当教員 (教授) が1名おり、支援がないため、担当者を減。 (27) 平成26年3月 高橋博美教授就任辞退 (26) 平成26年9月または平成27年4月から専任教員採用予定で公募中 左記科目は他に担当教員がいるため、支援はない。
				看護学総合演習 看護学総合実習 総合技術演習 (OSCE) Ⅱ 看護研究法Ⅰ 看護研究法Ⅱ	専	教授	やまがき ちか 山崎 章恵 後任未定	平成27年4月	看護学総合演習 看護学総合実習 総合技術演習 (OSCE) Ⅱ 看護研究法Ⅰ 看護研究法Ⅱ	専任教員を補充。平成26年9月AC教員審査済 (27) 平成26年3月 高橋博美教授就任辞退 (26) 平成26年9月または平成27年4月から専任教員採用予定で公募中 左記科目は他に担当教員がいるため、支援はない。
専	教授	いづみ まゆみ 伊藤 まゆみ	平成25年4月	コミュニケーション論 成人看護学概論 成人看護学援助論Ⅱ 成人看護学援助論Ⅳ 成人看護学援助演習 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 総合技術演習 (OSCE)Ⅰ カウンセリング 緩和ケア、終末期ケア 看護学総合演習 看護学総合実習 総合技術演習 (OSCE)Ⅱ 看護研究法Ⅰ 看護研究法Ⅱ						
専	教授	たかぎ ひろこ 北川 公子	平成25年4月	ヘルスプロモーション 高齢者看護学概論 高齢者看護学援助論 高齢者看護学援助演習 高齢者看護学実習Ⅰ 高齢者看護学実習Ⅱ 高齢者看護学実習Ⅲ 総合技術演習 (OSCE)Ⅰ ケースマネジメント 多職種連携論 看護専門職論 看護学総合演習 看護学総合実習 総合技術演習 (OSCE)Ⅱ 看護研究法Ⅰ 看護研究法Ⅱ						

専	教授	かり 加藤 けい 令子	平成25年4月	看護倫理	兼任	講師	ムラカミ 村上 好恵	平成28年4月	看護倫理	平成28年3月 加藤令子教授就任辞退による担当者交代 (28)
				小児看護学概論 小児看護学援助論 小児看護学援助演習 小児看護学実習 総合技術演習 (OSCE) I	専	教授	つなぐ 津波古 スズ	平成28年4月	小児看護学概論 小児看護学援助論 小児看護学援助演習 小児看護学実習 総合技術演習 (OSCE) I	平成28年3月 加藤令子教授就任辞退により専任教員を補充。平成27年11月 AC教員審査済 (28)
				国際看護論	専	教授	たかぎ 高木 廣文	平成28年4月	国際看護論	平成28年3月 加藤令子教授就任辞退により専任教員を補充。平成27年11月 AC教員審査済 (28)
				緩和ケア・終末期ケア			担当者の減			平成28年3月 加藤令子教授就任辞退により担当者を減。左記科目は他に担当教員が1名いるため、支障はない。(28)
				家族看護学	兼任	講師	たかぎ 中村 由美子	平成28年4月	家族看護学	平成28年3月 加藤令子教授就任辞退による担当者交代 (28)
				災害看護論	専	准教授	にしが 西田 志穂	平成28年4月	災害看護論	平成28年3月 加藤令子教授就任辞退による担当者交代。平成27年11月 AC教員審査済 (28)
				看護専門職論 看護学総合演習 看護学総合実習 総合技術演習 (OSCE) II 看護研究法 I 看護研究法 II	専	教授	つなぐ 津波古 スズ	平成28年4月	看護専門職論 看護学総合演習 看護学総合実習 総合技術演習 (OSCE) II 看護研究法 I 看護研究法 II	平成28年3月 加藤令子教授就任辞退により専任教員を補充。平成27年11月 AC教員審査済 (28)
専	教授	丸山(ゆづり) けい 丸山(岸田) 泰子	平成25年4月	母性看護学概論 母性看護学援助論 母性看護学援助演習 母性看護学実習 総合技術演習 (OSCE) I 看護学総合演習 看護学総合実習 総合技術演習 (OSCE) II 看護研究法 I 看護研究法 II						
専	教授	かみかみ 日下 和代	平成25年4月	コミュニケーション論 精神看護学概論 精神看護学援助論 精神看護学援助演習 精神看護学実習 総合技術演習 (OSCE) I 看護学総合演習 看護学総合実習 総合技術演習 (OSCE) II 看護研究法 I 看護研究法 II						
専	教授	かみかみ 田口 理恵	平成25年4月	公衆衛生学	専	教授	たかぎ 高木 廣文	平成28年4月	公衆衛生学	専任教員を補充し担当者を変更。平成27年11月AC教員審査済。 (28) 平成26年4月から 講義内容の充実を図るため兼任講師を追加 (26)
					専	教授	かみかみ 河原 智江	平成28年4月	公衆衛生学	
					専	教授	かみかみ 田口 理恵	平成25年4月	公衆衛生学	
					兼任	講師	いしづか 石橋 義永	平成26年4月	公衆衛生学	
					兼任	講師	あべ 渡邊 洋子	平成26年4月	公衆衛生学	
					兼任	講師	たけが 徳田 泰敏	平成26年4月	公衆衛生学	
					兼任	講師	かみかみ 河原 智江	平成26年4月	公衆衛生学	
			平成25年4月	ヘルスプロモーション 在宅看護概論 在宅看護学援助論 在宅看護学援助演習 在宅看護学実習 I 在宅看護学実習 II 地域看護学概論 地域看護学援助演習 総合技術演習 (OSCE) I ケースマネジメント 地域保健・産業保健 多職種連携論 看護学総合演習 看護学総合実習 総合技術演習 (OSCE) II 看護研究法 I 看護研究法 II						

専	教授	キノ 矢野 章永	平成27年4月	在宅看護学援助論 在宅看護学援助演習 在宅看護学援助演習 I 在宅看護学援助演習 II 総合技術演習 (OSCE) I ケースマネジメント 継続看護 看護学総合演習 看護学総合実習 総合技術演習 (OSCE) II 看護研究法 I 看護研究法 II	専	准教授	カハノ チ 河原 智江	平成28年4月	在宅看護学援助論 在宅看護学援助演習 在宅看護学援助演習 I 在宅看護学援助演習 II 総合技術演習 (OSCE) I ケースマネジメント 継続看護 看護学総合演習 看護学総合実習 総合技術演習 (OSCE) II 看護研究法 I 看護研究法 II	平成28年3月 矢野章永教授就任辞退により専任教員を補充。平成27年11月AC 教員審査済。(28)
				看護と芸術 看護教育学	専	教授	カハノ スミコ 津波白 澄子	平成28年4月	看護と芸術 看護教育学	平成28年3月 矢野章永教授就任辞退により専任教員を補充。平 成27年11月 AC教員審査済。(28)
				災害看護論			担当者の減		平成28年3月 矢野章永教授就任辞退により担当者を減。左記科 目は、他に担当教員が1名いるため、支障はない。(28)	
					専	教授	カハノ チ 河原 智江	平成28年4月	在宅看護概論 地域看護学概論 地域看護学援助演習 多職種連携論	専任教員を補充。平成27年11月 AC教員審査済。(28)
					専	兼任 講師	カハノ ミユコ 中原るり子 キノ 章永 矢野 章永	平成27年4月 平成26年4月	看護学概論 看護過程展開論	専任教員を補充し、担当者を変更。平成26年9月AC教員審査済 (27) 平成26年3月 岩永秀子教授、高橋博美教授就任辞退により担当科目の追加 (26)
専	准教授	ヒロセ ノブコ 廣瀬 信子	平成27年4月	看護学入門 基礎看護技術論 I 基礎看護技術論 II 基礎看護技術論 III 日常生活援助技術論 I 日常生活援助技術論 II 日常生活援助技術論 III 回復促進援助技術論 I 回復促進援助技術論 II 基礎看護学実習 I 基礎看護学実習 II 総合技術演習 (OSCE) I 看護教育学 看護学総合演習 看護学総合実習 総合技術演習 (OSCE) II 看護研究法 I 看護研究法 II	専	准教授	カハノ マチコ 中村 昌子	平成27年4月	看護学入門 基礎看護技術論 I 基礎看護技術論 II 基礎看護技術論 III 日常生活援助技術論 I 日常生活援助技術論 II 日常生活援助技術論 III 回復促進援助技術論 I 回復促進援助技術論 II 基礎看護学実習 I 基礎看護学実習 II 総合技術演習 (OSCE) I	平成27年3月 廣瀬信子准教授就任辞退による担当者交代。平成27年2月AC教員 審査済。(27) 平成26年度までは兼任講師として担当のため(25)
				看護学入門 基礎看護技術論 I 基礎看護技術論 II 基礎看護技術論 III 日常生活援助技術論 I 日常生活援助技術論 II 日常生活援助技術論 III 回復促進援助技術論 I 回復促進援助技術論 II 基礎看護学実習 I 基礎看護学実習 II	兼任	講師	ヒロセ ノブコ 廣瀬 信子	平成28年4月	看護教育学	平成27年3月 廣瀬信子准教授就任辞退。 平成26年9月および平成27年1月 担当候補者のAC教員審査不可。 「看護教育学」は、他に担当教員(教授)が1名おり、支障がない ため、担当者を減。(27)
							担当者の減			看護学総合演習 看護学総合実習 総合技術演習 (OSCE) II 看護研究法 I 看護研究法 II
					専	准教授	カハノ マチコ 中村 昌子	平成27年4月	看護学総合演習 看護学総合実習 総合技術演習 (OSCE) II 看護研究法 I 看護研究法 II	平成27年3月 廣瀬信子准教授就任辞退による担当者交代。平成27年1月AC教員 審査済。(27)
					専	准教授	カハノ マチコ 中村 昌子	平成27年4月	看護アセスメント論 看護過程展開論	担当科目の追加。平成27年11月AC教員審査済。(28)
					専	兼任 講師	カハノ ミユコ 中原るり子 ヒロセ ノブコ 廣瀬 信子	平成27年4月 平成26年4月	看護学概論	担当者の交代。平成26年9月AC教員審査済。(27) 平成26年3月 岩永秀子教授就任辞退により 担当科目の追加(26)

				コミュニケーション論			担当者の減			平成26年3月 富澤美幸准教授就任辞退(26) 「コミュニケーション論」は、他に担当教員が2名いるため、支障はない
専	准教授	トシヲ ミチ 高澤 美幸	平成25年4月	看護アセスメント論 基礎看護技術論Ⅰ 基礎看護技術論Ⅱ 基礎看護技術論Ⅲ 日常生活援助技術論Ⅰ 日常生活援助技術論Ⅱ 日常生活援助技術論Ⅲ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 総合技術演習(OSCE)Ⅰ 看護学総合演習 看護学総合実習 総合技術演習(OSCE)Ⅱ 看護研究法Ⅱ	専	准教授	サツヲ ミチ 櫻井 美奈	平成26年4月	看護アセスメント論 基礎看護技術論Ⅰ 基礎看護技術論Ⅱ 基礎看護技術論Ⅲ 日常生活援助技術論Ⅰ 日常生活援助技術論Ⅱ 日常生活援助技術論Ⅲ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 総合技術演習(OSCE)Ⅰ 看護学総合演習 看護学総合実習 総合技術演習(OSCE)Ⅱ 看護研究法Ⅱ	平成26年3月 富澤美幸准教授就任辞退による担当者交代。 平成26年1月AC教員審査済
					専	准教授	サツヲ ミチ 櫻井 美奈	平成26年4月	回復促進援助技術論Ⅰ 回復促進援助技術論Ⅱ 基礎ゼミナール	平成26年1月AC教員審査済(26)
					専	准教授	サツヲ ミチ 櫻井 美奈	平成27年4月	看護過程展開論	担当科目の追加。平成26年9月AC教員審査済(27)
専	准教授	ヒナリ ミコ 藤刈 美和子	平成25年4月	成人看護学援助論Ⅰ 成人看護学援助論Ⅱ 成人看護学援助論Ⅲ 成人看護学援助論Ⅳ 成人看護学援助演習 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 総合技術演習(OSCE)Ⅰ 看護学総合演習 看護学総合実習 看護研究法Ⅱ 基礎ゼミナール 総合技術演習(OSCE)Ⅱ	専	准教授	マツマ マコ 大山 真貴子	平成28年4月	成人看護学援助論Ⅰ 成人看護学援助論Ⅱ 成人看護学援助論Ⅲ 成人看護学援助論Ⅳ 成人看護学援助演習 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 総合技術演習(OSCE)Ⅰ 看護学総合演習 看護学総合実習 看護研究法Ⅱ 基礎ゼミナール 総合技術演習(OSCE)Ⅱ	平成28年3月 要田美和子准教授就任辞退につき専任教員を補充。平成27年11月AC教員審査済。(26)
専	准教授	フジイ ナミ 藤井 智恵美	平成25年4月	母性看護学援助論 母性看護学援助演習 母性看護学実習 総合技術演習(OSCE)Ⅰ 看護学総合演習 看護学総合実習 総合技術演習(OSCE)Ⅱ 看護研究法Ⅰ 看護研究法Ⅱ						
					専	准教授	フジイ ナミ 藤井 智恵美	平成28年4月	看護と芸術	担当科目の追加。平成27年11月AC教員審査済。(26)
専	准教授	マツマ マコ 丸山 昭子	平成25年4月	精神看護学援助論 精神看護学援助演習 精神看護学実習 総合技術演習(OSCE)Ⅰ 看護学総合演習 看護学総合実習 総合技術演習(OSCE)Ⅱ 看護研究法Ⅱ	専	准教授	ウチノ マコ 渡邊 敦子	平成28年4月	精神看護学援助論 精神看護学援助演習 精神看護学実習 総合技術演習(OSCE)Ⅰ 看護学総合演習 看護学総合実習 総合技術演習(OSCE)Ⅱ 看護研究法Ⅱ	平成28年3月 丸山昭子准教授就任辞退により専任教員を補充。平成28年1月AC教員審査済。(26)
					専	准教授	ウチノ マコ 渡邊 敦子	平成28年4月	基礎ゼミナール	平成28年3月 丸山昭子准教授就任辞退につき専任教員を補充。平成28年1月AC教員審査済。(26)
					専	准教授	マツマ マコ 丸山 昭子	平成26年4月		担当科目の追加。平成25年7月AC教員審査済。(26)
専	専任講師	サトウ ナカ 齋藤 孝子	平成25年4月	看護アセスメント論 基礎看護技術論Ⅰ 基礎看護技術論Ⅱ 基礎看護技術論Ⅲ 日常生活援助技術論Ⅰ 日常生活援助技術論Ⅱ 日常生活援助技術論Ⅲ 回復促進援助技術論Ⅰ 回復促進援助技術論Ⅱ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 総合技術演習(OSCE)Ⅰ 看護学総合演習 看護学総合実習 総合技術演習(OSCE)Ⅱ 基礎ゼミナール	専	講師	ヤマシ ナカ 山住 康恵	平成28年4月	看護アセスメント論 基礎看護技術論Ⅰ 基礎看護技術論Ⅱ 基礎看護技術論Ⅲ 日常生活援助技術論Ⅰ 日常生活援助技術論Ⅱ 日常生活援助技術論Ⅲ 回復促進援助技術論Ⅰ 回復促進援助技術論Ⅱ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 総合技術演習(OSCE)Ⅰ 看護学総合演習 看護学総合実習 総合技術演習(OSCE)Ⅱ 基礎ゼミナール	平成28年3月 齋藤孝子専任講師就任辞退により専任教員を補充。平成27年11月AC教員審査済。(26)
					専	講師	ヤマシ ナカ 山住 康恵	平成28年4月	看護過程展開論 看護研究法Ⅱ	担当教員を追加。平成27年11月AC教員審査済。(26)

専	専任講師	カハラ ジュンコ 中原 順子	平成25年4月	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 高齢者看護学実習Ⅰ 高齢者看護学実習Ⅱ 高齢者看護学実習Ⅲ 総合技術演習 (OSCE)Ⅰ 看護学総合実習 看護学総合実習 総合技術演習 (OSCE)Ⅱ	専	准教授	田中 一教子	平成26年4月	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ	平成28年3月 田中敬子准教授就任辞退につき担当者減。左記科目については他に担当教員が12名いるため、支障はない。(28) 平成26年3月 中原順子准教授就任辞退による担当者交代。平成26年1月AC教員審査済 (26)
					専	准教授	菅原 峰子	平成28年4月	高齢者看護学実習Ⅰ 高齢者看護学実習Ⅱ 高齢者看護学実習Ⅲ 総合技術演習 (OSCE)Ⅰ 看護学総合実習 看護学総合実習 総合技術演習 (OSCE)Ⅱ	平成28年3月 田中敬子准教授就任辞退により専任教員を補充。平成27年11月AC教員審査済。(28) 平成26年3月 中原順子准教授就任辞退による担当者交代。平成26年1月AC教員審査済 (26)
					専	教授	高木 廣文	平成28年4月	ヘルスプロモーション	平成28年3月 田中敬子准教授就任辞退により専任教員を補充。平成27年11月AC教員審査済。(28) 平成26年1月AC教員審査済 (26)
					専	准教授	菅原 峰子	平成28年4月	高齢者看護学概論 高齢者看護学援助論 高齢者看護学援助演習	平成28年3月 田中敬子准教授就任辞退により専任教員を補充。平成27年11月AC教員審査済。(28) 平成26年1月AC教員審査済 (26)
					専	講師	西崎 未和	平成28年4月	ケースマネジメント	平成28年3月 田中敬子准教授就任辞退により専任教員を補充。平成27年11月AC教員審査済。(28) 平成26年1月AC教員審査済 (26)
					専	准教授	菅原 峰子	平成28年4月	看護学研究法Ⅱ 基礎ゼミナール	平成28年3月 田中敬子准教授就任辞退により専任教員を補充。平成27年11月AC教員審査済。(28) 平成26年1月AC教員審査済 (26)
					専	准教授	菅原 峰子	平成28年4月	クリティカルケア	担当教員の追加。平成27年11月AC教員審査済。(28)
専	専任講師	サノ ノブミ 佐野 望	平成25年4月	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 高齢者看護学援助論 高齢者看護学援助演習 高齢者看護学実習Ⅰ 高齢者看護学実習Ⅱ 高齢者看護学実習Ⅲ 総合技術演習 (OSCE)Ⅰ 看護学総合実習 看護学総合実習 総合技術演習 (OSCE)Ⅱ 基礎ゼミナール	専	講師	荒木 亜紀	平成28年4月	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 高齢者看護学援助論 高齢者看護学援助演習 高齢者看護学実習Ⅰ 高齢者看護学実習Ⅱ 高齢者看護学実習Ⅲ 総合技術演習 (OSCE)Ⅰ 看護学総合実習 看護学総合実習 総合技術演習 (OSCE)Ⅱ 基礎ゼミナール	平成28年3月 佐野 望専任講師就任辞退により専任教員を補充。平成28年1月AC教員審査済。(28)
					専	講師	荒木 亜紀	平成28年4月	看護学研究法Ⅱ	担当教員の追加。平成28年1月AC教員審査済。(28)
専	専任講師	ニシダ シホ 西田 志穂	平成25年4月	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 小児看護学援助論 小児看護学援助演習 小児看護学実習 総合技術演習 (OSCE)Ⅰ クリティカルケア 医療安全 看護学総合実習 看護学総合実習 総合技術演習 (OSCE)Ⅱ	専	准教授 専任講師	ニシダ シホ 西田 志穂	平成27年4月	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 小児看護学援助論 小児看護学援助演習 小児看護学実習 総合技術演習 (OSCE)Ⅰ クリティカルケア 医療安全 看護学総合実習 看護学総合実習 総合技術演習 (OSCE)Ⅱ	平成27年4月 准教授に職位変更。平成27年1月AC教員審査済 (27)
					専	准教授 専任講師	ニシダ シホ 西田 志穂	平成27年4月 平成26年4月	基礎ゼミナール	平成27年4月 准教授に職位変更。平成27年4月AC教員審査済 (27) 担当科目の追加。平成25年7月AC教員審査済 (26)
					専	准教授	ニシダ シホ 西田 志穂	平成28年4月	小児看護学概論 災害看護論 看護学研究法Ⅱ	担当科目の追加。平成27年11月AC教員審査済。(28)

専	専任講師	オノ 智子 小野 智佐子	平成25年4月	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 母性看護学援助論 母性看護学援助演習 母性看護学実習 総合技術演習 (OSCE)Ⅰ 看護学総合演習 看護学総合実習 総合技術演習 (OSCE)Ⅱ 基礎ゼミナール	専	准教授	ワカ ケイ 和田 佳子	後任未定	平成26年10月	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 母性看護学援助論 母性看護学援助演習 母性看護学実習 総合技術演習 (OSCE)Ⅰ 看護学総合演習 看護学総合実習 総合技術演習 (OSCE)Ⅱ 基礎ゼミナール	平成25年7月AC教員審査済 (26) 平成25年3月 小野智佐子講師就任辞退 (25) 平成26年4月から専任教員採用予定で公募中。 1年次担当の「基礎看護学実習Ⅰ」「基礎看護学実習Ⅱ」「基礎ゼミナール」は他に担当教員がいるため、支援はない。
					専	准教授	ワカ ケイ 和田 佳子		平成26年10月	看護研究法Ⅱ	平成25年7月AC教員審査済 (26)
専	専任講師	ニシ 留美子 西 留美子	平成25年4月	継続看護 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 在宅看護学援助論 在宅看護学援助演習 在宅看護学実習Ⅰ 在宅看護学実習Ⅱ 総合技術演習 (OSCE)Ⅰ 看護学総合演習 看護学総合実習 総合技術演習 (OSCE)Ⅱ	専	講師	ニシギキ ミリ 西崎 未和		平成28年4月	継続看護 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 在宅看護学援助論 在宅看護学援助演習 在宅看護学実習Ⅰ 在宅看護学実習Ⅱ 総合技術演習 (OSCE)Ⅰ 看護学総合演習 看護学総合実習 総合技術演習 (OSCE)Ⅱ	平成28年3月 西留美子専任講師就任辞退により専任教員を補充。平成27年11月AC教員審査済。(28)
					専	講師	ニシギキ ミリ 西崎 未和		平成28年4月	基礎ゼミナール	平成28年3月 西留美子専任講師就任辞退により専任教員を補充。平成27年11月AC教員審査済。(28)
					専	専任講師	ニシギキ ミリ 西留美子		平成26年4月		担当科目の追加。平成25年7月AC教員審査済 (26)
					専	専任講師	ニシギキ ミリ 西留美子		平成27年4月	地域看護学援助演習	平成28年3月 西留美子専任講師就任辞退につき担当者減。左記科目については他に担当教員が1名いるため支援はない。(28) 担当科目の追加。平成26年9月AC教員審査済 (27)
専	助教	イワノ 智恵美 石渡 智恵美	平成25年4月	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ			担当者の減				平成28年3月 石渡智恵美助教就任辞退につき担当者減。基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱについては他に担当教員が12名、成人看護学実習Ⅰ・Ⅱについては他に担当教員が4名いるため、支援はない。(28)
					専	助教	イワノ 智恵美 石渡 智恵美		平成27年4月	総合技術演習 (OSCE)Ⅰ 看護学総合実習 総合技術演習 (OSCE)Ⅱ	平成28年3月 石渡智恵美助教就任辞退につき担当者減。左記科目については、他の担当者が総合技術演習 (OSCE)Ⅰにおいては24名、看護学総合実習および総合技術演習 (OSCE)Ⅱにおいては23名いるため、支援はない。(28) 担当科目の追加。平成26年9月AC教員審査済 (27)
専	助教	ウツキ 菊地 知子 菊地 きよ美	平成27年4月	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ	専	助教	後任未定 ウツキ 菊地 矢日 菜穂		平成27年4月	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ	平成28年3月 矢日菜穂助教就任辞退。後任については、平成28年9月採用予定で公募中。基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱについては他に担当教員が12名、成人看護学実習Ⅰ・Ⅱについては他に担当教員が4名いるため、支援はない。(28) 平成27年3月 菊地きよ美助教就任辞退のため担当者変更。平成27年1月AC教員審査済。(27)
					専	助教	後任未定 ウツキ 菊地 矢日 菜穂		平成27年4月	総合技術演習 (OSCE)Ⅰ 看護学総合実習 看護学総合実習 看護学総合実習 総合技術演習 (OSCE)Ⅱ	平成28年3月 矢日菜穂助教就任辞退。後任については、平成28年9月採用予定で公募中。左記科目は、他に担当者が総合技術演習 (OSCE)Ⅰおよび看護学総合実習については24名、看護学総合実習および総合技術演習 (OSCE)Ⅱについては23名いるため、支援はない。(28) 平成27年1月AC教員審査済 (27)
専	助教	ニノ 知子 細野 知子	平成27年4月	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ	専	助教	ニノ 知子 丹後 キヌ子		平成28年4月	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ	平成28年3月 佐藤京子助教就任辞退により専任教員を補充。平成28年1月AC教員審査済。(28)
					専	助教	ニノ 知子 丹後 キヌ子		平成28年4月	総合技術演習 (OSCE)Ⅰ 看護学総合実習 看護学総合実習 看護学総合実習 総合技術演習 (OSCE)Ⅱ	平成27年3月 細野知子助教就任辞退のため担当者変更。平成27年1月AC教員審査済。(27)
					専	助教	ニノ 知子 丹後 キヌ子		平成27年4月	総合技術演習 (OSCE)Ⅰ 看護学総合実習 看護学総合実習 看護学総合実習 総合技術演習 (OSCE)Ⅱ	平成28年3月 佐藤京子助教就任辞退のため担当者変更。平成28年1月AC教員審査済。(28)
専	助教	マツノ 典文 松戸 典文	平成26年4月	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 高齢者看護学実習Ⅰ 高齢者看護学実習Ⅱ 高齢者看護学実習Ⅲ	専	助教	オノ 美香子 小野 美香子		平成27年4月	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 高齢者看護学実習Ⅰ 高齢者看護学実習Ⅱ 高齢者看護学実習Ⅲ	平成27年3月 松戸典文助教就任辞退のため担当者変更。平成27年1月AC教員審査済。(27)
					専	助教	オノ 美香子 小野 美香子		平成27年4月	総合技術演習 (OSCE)Ⅰ 看護学総合実習 看護学総合実習 看護学総合実習 総合技術演習 (OSCE)Ⅱ	平成27年1月AC教員審査済 (27)
専	助教	オノ 恭子 甲斐 恭子	平成27年4月	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 小児看護学実習	専	助教	トシタ 悦子 高崎 悦子		平成28年4月	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 小児看護学実習	平成28年3月 甲斐恭子助教就任辞退により専任教員を補充。平成28年1月AC教員審査済。(28)
					専	助教	トシタ 悦子 高崎 悦子		平成28年4月	総合技術演習 (OSCE)Ⅰ 看護学総合実習 看護学総合実習 看護学総合実習 総合技術演習 (OSCE)Ⅱ	平成28年3月 甲斐恭子助教就任辞退により専任教員を補充。平成28年1月AC教員審査済。(28)
					専	助教	オノ 恭子 甲斐 恭子		平成27年4月		担当科目の追加。平成26年9月AC教員審査済 (27)

専	助教	イサト 石田 徹	平成26年4月	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 精神看護学実習	専	助教	ムカイ 京子	平成28年4月	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 精神看護学実習	平成28年3月 石田 徹助教就任辞退により専任教員を補充。平成27年11月AC 教員審査済。(28)
					専	助教	ムカイ 京子	平成28年4月	総合技術演習 (OSCE) Ⅰ 看護学総合演習 看護学総合実習 総合技術演習 (OSCE) Ⅱ	平成28年3月 石田 徹助教就任辞退により専任教員を補充。平成27年11月AC 教員審査済。(28)
兼任	教授	カマミ ヒロシ 熊谷 仁	平成25年4月	化学						担当科目の追加。平成26年9月AC教員審査済 (27)
兼任	教授	スギ ノリ 杉 憲子	平成25年4月	統計基礎 環境・科学の諸課題 数学	兼任	教授	スギ ノリ 杉 憲子	平成25年4月	統計基礎 環境・科学の諸課題 数学	
				物理学	兼任	講師	アザノ マサフミ 愛知 正温	平成27年4月	物理学	担当者の変更 (27)
							アサノ マサフミ 浜野 洋三	平成26年4月		担当者の変更 (25)
兼任	教授	カガミ ヒロシ 川上 浩	平成25年4月	生物学						
兼任	教授	フジタ マサ 藤田 雅夫	平成25年4月	マーケティング						
兼任	教授	サカグチ ヨシ 坂口 麗衣	平成25年4月	体育	兼任	教授	サカグチ ヨシ 坂口 麗衣	平成27年4月	健康スポーツ実習A 健康スポーツ実習B	「体育」を廃止し、「健康スポーツ実習A」「健康スポーツ実習 B」を新設したことによる、担当授業科目の変更 (27)
兼任	教授	シマダ イサム 島田 勇	平成25年4月	比較文化の視点	兼任	准教授	ムラサキ 肇代	平成25年4月	比較文化の視点	担当者の変更 (25)
				世界史概論	兼任	講師	カハタ ノブユキ 河合 信晴	平成25年4月	世界史概論	担当者の変更 (25)
兼任	教授	ハルチノウ カンイチ 半沢 幹一	平成25年4月	表現技法Ⅰ (作文・論 文)	兼任	教授	ハルチノウ カンイチ 半沢 幹一	平成27年4月	表現技法Ⅰ (作文・論 文)	担当者の変更 (27)
					兼任	准教授	コサキ カンイチ 深津 謙一郎	平成26年4月	表現技法Ⅰ (作文・論 文)	担当者の変更 (26)
					兼任	教授	アベ マチ子 阿部 由香子	平成25年4月	表現技法Ⅰ (作文・論 文)	担当者の変更 (25)
				表現技法Ⅲ (企画立 案・発表討論)	兼任	講師	ホシノ ユウコ 星野 祐子	平成25年4月	表現技法Ⅲ (企画立 案・発表討論)	担当者の変更 (25)
兼任	教授	ムカイ 剛史	平成25年4月	文学の世界						
兼任	教授	フジタ オサム 福田 収	平成25年4月	情報基礎 人間とは何か	兼任	教授		平成25年4月	情報基礎 人間とは何か	
				哲学概論	兼任	講師	モリ トヨシ 毛利 豊史	平成25年4月	哲学概論	担当者の変更 (25)
				倫理学概論	兼任	講師	ウマコウ トモキ 馬場 智理	平成26年4月	倫理学概論	担当者の変更 (26)
							カハタ ノブユキ 河上 正秀	平成25年4月		担当者の変更 (25)
兼任	教授	オホタ カズコ 太田 和子	平成25年4月	文化人類学						
兼任	教授	リ ノブユキ 李 鍾強	平成25年4月	基礎中国語 (入門) 基礎中国語 (表現)						
兼任	教授	ハシカワ トシキ 橋川 俊樹	平成25年4月	メディアと文化						

兼担	教授	イシイ ヒサシ 石井 久生	平成25年4月	人文地理学 地誌学概論	兼担 教授	イシイ ヒサシ 石井 久生	平成25年4月	人文地理学 地誌学概論	
				自然地理学	兼任 講師	ハカリ ヨウイチ 早川 裕次 フジタ ヒロユキ 藤本 一久	平成26年4月 平成26年4月	自然地理学	担当者の変更 (26) 担当者の変更 (25)
兼担	教授	タテマツ ミチコ 立松 美也子	平成25年4月	法学概論					
兼担	准教授	カワハラ ノリコ 河原 紀子	平成25年4月	発達心理学	兼任 講師	ウツチガキ ヒロミ 倉持 清美 シラカネ トシノブ 白神 敏介	平成27年4月 平成25年4月	発達心理学	担当者の変更 (27) 担当者の変更 (25)
兼担	准教授	ムラカミ ヤスコ 村上 康子	平成25年4月	芸術の世界					
兼担	准教授	タカハシ タカフミ 高橋 大輔	平成25年4月	生活環境とアメニティ					
兼担	准教授	シズマ アキコ 清水 明子	平成25年4月	英語 II TOEIC/TOEFL演習 分野別英語	兼担 准教授	シズマ アキコ 清水 明子	平成25年4月	英語 II TOEIC/TOEFL演習	
					兼担 准教授	C.A.ヒラツ C.A.ヒラツ	平成26年4月	分野別英語	授業科目の廃止 (27) 担当者の変更 (26)
兼担	准教授	フジモト マチコ 藤本 麻紀子	平成25年4月	衣食住の文化					
兼担	准教授	オカダ (材料) ヒロミ 岡田 (大岡) ひろみ	平成25年4月	文学	兼担 教授	ウチノイナ ヒロユキ 内田 保康	平成26年4月	文学	担当者の変更 (26)
兼担	准教授	イワサキ エリナ 岩崎 えり奈	平成25年4月	女性と社会	兼担 教授	イワサキ エリナ 岩崎 えり奈 イワサキ ヒロユキ 岩崎 浩子	平成26年4月 平成26年4月	女性と社会	担当者の変更 (26) 担当者の変更 (25)
兼担	准教授	フカシマ カズヨシ 深津 謙一郎	平成25年4月	表現技法 II (読解・ 分析)	兼担 教授	ナカノ ヒロユキ 中本 泰平 ヒラツ ヒロユキ 平沢 一幹	平成28年4月 平成26年4月	表現技法 II (読解・ 分析)	担当者の変更 (28) 担当者の変更 (25)
兼担	准教授	アンソニー・ヒュー・ミルズ アンソニー・ ヒュー・ミルズ	平成25年4月	英語 I	兼担 教授	クリス ホスキ クリス・ホスキ ンズ	平成25年4月	英語 I	担当者の変更 (25)
兼担	准教授	リリアン・スウェイン リリアン・ スウェイン	平成25年4月	英語 I	兼担 教授	アンソニー・ヒュー・ ミルズ アンソニー・ ヒュー・ミルズ	平成26年4月	英語 I	担当者の変更 (26)
兼担	准教授	テラジマ コウジ 寺地 功次	平成25年4月	国際関係概論					
兼担	准教授	ニシムラ フミコ 西村 史子	平成25年4月	教育学	兼任 講師	オカダ ヒロユキ 大岡 紀里子 ヒラツ ヒロユキ 平沢 一幹	平成27年4月 平成25年4月	教育学	担当者の変更 (27) 担当者の変更 (25)
兼担	准教授	ウツチガキ カホリ 浅沼 かおり	平成25年4月	地域史					
兼担	准教授	ウツチガキ ユキコ 辻山 ゆき子	平成25年4月	基礎フランス語 (入 門)	兼担 准教授	ウツチガキ ユキコ 辻山 ゆき子	平成25年4月	基礎フランス語 (入 門)	
				基礎フランス語 (表 現)	兼担 講師 兼担 准教授	ウツチガキ ヒロユキ 浅沼 明子 ヒラツ ヒロユキ 平沢 一幹	平成28年4月 平成26年4月	基礎フランス語 (表 現)	担当者の変更 (28) 担当者の変更 (26)
兼担	准教授	ヤノダ ヒロト 八十田 博人	平成25年4月	政治学概論					

兼任	講師	コダマ ヨシノ 児玉 好信	平成25年4月	統計情報処理							
兼任	講師	ワタナベ アサヒ 渡辺 明日香	平成25年4月	デザインの現在							
兼任	講師	オホベ タカシ 岡部 隆志	平成25年4月	教養講座 自己開発	兼任	講師	オホベ タカシ 岡部 隆志	平成25年4月	教養講座 自己開発		
				民俗学	兼任	講師	ウチキ ヒサシ 土屋 久	平成25年4月	民俗学	担当者の変更 (25)	
兼任	講師	マエノリ リョウイチ 前之園 亮一	平成25年4月	日本史概論							
兼任	講師	クリストファー アンソニー ピッツ	平成25年4月	英語 I オーラル・コミュニ ケーション	兼任	講師	クリストファー アンソニー ピッツ	平成25年4月	英語 I		
					兼任	講師	クリストファー アンソニー ピッツ	平成28年4月	オーラル・コミュニ ケーション	担当者の変更 (28)	
					兼任	講師	クリストファー アンソニー ピッツ	平成26年4月	オーラル・コミュニ ケーション	担当者の変更 (26)	
兼任	講師	ウエノチ マリエ 上瀬 真理江	平成25年4月	人間関係と自己表現	兼任	講師	ウエノチ マリエ 上瀬 真理江	平成25年4月	人間関係と自己表現		
				心理学	兼任	講師	イヘノチ ハルコ 一前 春子	平成25年4月	心理学	担当者の変更 (25)	
兼任	講師	フルタ タツヲ 鶴田 達成	平成26年4月	医療の英語 I 医療の英語 II	兼任	講師	カワムラ シホミ 川島 志保美	平成28年4月			担当者の変更 (28)
					兼任	講師	ヤマモト ケン 山本 亮	平成27年4月	医療の英語 I 医療の英語 II	担当者の変更 (27)	
					兼任	講師	サカモト マチコ 岡村 真紀子	平成26年4月	医療の英語 I 医療の英語 II	担当者の変更 (26)	
兼任	講師	E. ベンゴスロ E. ベンゴスロ	平成27年4月	ビジネス英語 II	兼任	講師	吉田 貴	平成26年4月	ビジネス英語 II	担当者の変更 (27)	
兼任	講師	イノ シュンジ 伊藤 純治	平成25年4月	解剖学 I 解剖学 II							
兼任	講師	フナヤマ マキノ 古山 マキノ	平成25年4月	生理学 I 生理学 II	兼任	講師	オホベ タカシ 岡部 弥生	平成28年4月	生理学 I 生理学 II	担当者の変更 (28)	
					兼任	講師	ヒノサキ ケン 細山田 康恵	平成27年4月	生理学 I 生理学 II	担当者の変更 (27)	
兼任	講師	イノシテ マモル 五十嵐 廣	平成25年4月	生化学							
兼任	講師	モリ マサキ 森 正也	平成25年4月	病理学	兼任	講師	キタキ ヒロコ 木口 英子	平成27年4月	病理学	担当者の変更 (27)	
兼任	講師	ミヤケ オサミ 宮脇 郁	平成25年4月	臨床心理学	兼任	講師	オホベ タカシ 岡部 友子	平成25年9月	臨床心理学	担当者の交代及び追加 (26)	
					兼任	講師	イノカモト ユキ 石川 元直	平成27年4月	臨床心理学	担当者の変更 (27)	
					兼任	講師	ミヤケ オサミ 宮脇 佳世	平成25年9月	臨床心理学	就任辞退 (25) 1年次後期配当科目につき、 平成25年9月兼任講師採用予定	
兼任	講師	ムラサキ ヒロシ 村井 法之	平成25年4月	微生物学							
兼任	講師	ヤマノ マサコ 山田 正子	平成25年4月	栄養学							

兼任	講師	マブナ ケイ 真船 健一	平成25年4月	病態と治療Ⅰ（臓器疾患）	兼任 講師	マブナ ケイ 真船 健一	平成25年4月	病態と治療Ⅰ（臓器疾患）	担当者の変更および就任辞退による担当者の減（27）  平成25年4月から 講義内容の充実を図るため兼任講師を追加（25）
					兼任 講師	トウ ノブ 戸田 信夫	平成25年4月	病態と治療Ⅰ（臓器疾患）	
					兼任 講師	ヨシムラ ケイコ 吉村 邦彦 キムラ トモキ 木野 博至	平成27年4月 平成26年4月	病態と治療Ⅰ（臓器疾患）	
					兼任 講師	イケガキ シンゴ 池田 晋悟	平成25年4月	病態と治療Ⅰ（臓器疾患）	
					兼任 講師	ナカガミ ヒロシ 中島 啓吾	平成25年4月	病態と治療Ⅰ（臓器疾患）	
					兼任 講師	クニハシ タカシ 楠原 隆義 ミナモト トシヲ 三浦 純男	平成27年4月 平成25年4月	病態と治療Ⅰ（臓器疾患）	
					兼任 講師	ミヅノ マサミ 三瀬 直文	平成25年4月	病態と治療Ⅰ（臓器疾患）	
					兼任 講師	イノムラ トシキ 榎本 裕	平成26年4月	病態と治療Ⅰ（臓器疾患）	
兼任	講師	加心 フシ 高橋 強志	平成26年4月	病態と治療Ⅱ（全身システム疾患）	兼任 講師	タカハシ フシ 高橋 強志	平成26年4月	病態と治療Ⅱ（全身システム疾患）	担当者の変更（28）  担当者の変更（27）  平成26年4月から 講義内容の充実を図るため兼任講師を追加（26）
					兼任 講師	フクダ 幸人 キムラ トモキ 木野 博至	平成27年4月 平成26年4月	病態と治療Ⅱ（全身システム疾患）	
					兼任 講師	ニノミヤ ケイ 二宮 賢一 ニノミヤ トモキ 湯浅 律子	平成28年4月 平成26年4月	病態と治療Ⅱ（全身システム疾患）	
					兼任 講師	タカハシ フシ 高橋 強志 ミナモト トシヲ 三浦 純男 オオノ トシヲ 大野 秀路	平成28年4月 平成27年4月 平成26年4月	病態と治療Ⅱ（全身システム疾患）	
					兼任 講師	イノムラ フシ 五十川 陽洋	平成26年4月	病態と治療Ⅱ（全身システム疾患）	
					兼任 講師	イノムラ トシキ 榎本 裕 タカハシ フシ 高橋 強志	平成28年4月 平成26年4月	病態と治療Ⅱ（全身システム疾患）	
					兼任 講師	イノムラ フシ 五十川 陽洋	平成26年4月	病態と治療Ⅱ（全身システム疾患）	
兼任	講師	加村 洋介 川崎 洋介	平成26年4月	病態と治療Ⅲ（運動器関連疾患）	兼任 講師	ハシモト ヒロコ 蛭見 洋継	平成27年4月	病態と治療Ⅲ（運動器関連疾患）	講義内容の充実を図るため兼任講師を追加。（28）  講義内容の充実を図るため兼任講師を追加。また、担当者を変更（27）  平成26年4月から 講義内容の充実を図るため兼任講師を追加（26）
					兼任 講師	カサハタ 洋介 川崎 洋介	平成26年4月	病態と治療Ⅲ（運動器関連疾患）	
					兼任 講師	シノモト イサミ 杉本 泉	平成26年4月	病態と治療Ⅲ（運動器関連疾患）	
					兼任 講師	カサハタ 洋介 川崎 洋介	平成26年4月	病態と治療Ⅲ（運動器関連疾患）	
					兼任 講師	フジタ ヒサシ 藤田 久 フジタ ヒサシ 福内 崇	平成27年4月 平成26年4月	病態と治療Ⅲ（運動器関連疾患）	
					兼任 講師	ヒロシ シンノブ 廣田 仁聡	平成26年4月	病態と治療Ⅲ（運動器関連疾患）	
					兼任 講師	カサハタ 洋介 川崎 洋介	平成28年4月	病態と治療Ⅲ（運動器関連疾患）	
					兼任 講師	カサハタ 洋介 川崎 洋介	平成28年4月	病態と治療Ⅲ（運動器関連疾患）	

兼任	講師	ウツウ ｼﾞﾌﾞ 倉沢 滋明	平成26年4月	病態と治療Ⅳ（産婦人科・小児科疾患）						
兼任	講師	ウツウ ｼﾞﾌﾞ 櫻井 靖久	平成26年4月	病態と治療Ⅴ（精神・神経系疾患）	兼任	講師	ウツウ ｼﾞﾌﾞ 櫻井 靖久	平成26年4月	病態と治療Ⅴ（精神・神経系疾患）	担当者の変更（27） 平成26年4月から 講義内容の充実を図るため兼任講師を追加（26）
				兼任	講師	ウツウ ｼﾞﾌﾞ 鴨居 功樹	平成27年4月	病態と治療Ⅴ（精神・神経系疾患）		
				兼任	講師	ウツウ ｼﾞﾌﾞ 赤星 隆幸	平成26年4月	病態と治療Ⅴ（精神・神経系疾患）		
				兼任	講師	ウツウ ｼﾞﾌﾞ 奥野 妙子	平成26年4月	病態と治療Ⅴ（精神・神経系疾患）		
				兼任	講師	ウツウ ｼﾞﾌﾞ 杉本 泉	平成26年4月	病態と治療Ⅴ（精神・神経系疾患）		
				兼任	講師	ウツウ ｼﾞﾌﾞ 石川 元直	平成27年4月	病態と治療Ⅴ（精神・神経系疾患）		
				兼任	講師	ウツウ ｼﾞﾌﾞ 宮崎 佳世	平成26年4月	病態と治療Ⅴ（精神・神経系疾患）		
				兼任	講師	ウツウ ｼﾞﾌﾞ 久保田 友子	平成26年4月	病態と治療Ⅴ（精神・神経系疾患）		
兼任	講師	ウツウ ｼﾞﾌﾞ 四維 東州	平成26年4月	病態と治療Ⅵ（検査・麻酔・臨床工学）	兼任	講師	ウツウ ｼﾞﾌﾞ 四維 東州	平成27年4月	病態と治療Ⅵ（検査・麻酔・臨床工学）	担当者の変更および担当者就任辞退による担当者数の減（27） 平成26年4月から 講義内容の充実を図るため兼任講師を追加（26）
				兼任	講師	ウツウ ｼﾞﾌﾞ 濱田 啓子	平成27年4月	病態と治療Ⅵ（検査・麻酔・臨床工学）		
				兼任	講師	ウツウ ｼﾞﾌﾞ 三浦 直実	平成26年4月	病態と治療Ⅵ（検査・麻酔・臨床工学）		
				兼任	講師	ウツウ ｼﾞﾌﾞ 石井 宣大	平成27年4月	病態と治療Ⅵ（検査・麻酔・臨床工学）		
				兼任	講師	ウツウ ｼﾞﾌﾞ 福田 穂積	平成26年4月	病態と治療Ⅵ（検査・麻酔・臨床工学）		
				兼任	講師	ウツウ ｼﾞﾌﾞ 布施 拓	平成27年4月	病態と治療Ⅵ（検査・麻酔・臨床工学）		
				兼任	講師	ウツウ ｼﾞﾌﾞ 白石 憲史郎	平成26年4月	病態と治療Ⅵ（検査・麻酔・臨床工学）		
兼任	講師	ウツウ ｼﾞﾌﾞ 秋保 光利	平成26年4月	リハビリテーション	兼任	講師	ウツウ ｼﾞﾌﾞ 秋保 光利	平成26年4月	リハビリテーション	担当者の就任辞退による担当者数の減（27） 平成26年4月から 講義内容の充実を図るため兼任講師を追加（26）
				兼任	講師	ウツウ ｼﾞﾌﾞ 松本 直人	平成26年4月	リハビリテーション		
				兼任	講師	ウツウ ｼﾞﾌﾞ 岡村 大介	平成26年4月	リハビリテーション		
兼任	講師	ウツウ ｼﾞﾌﾞ 鶴若 麻理	平成27年4月	生命倫理						
兼任	講師	ウツウ ｼﾞﾌﾞ 後藤 光世	平成25年4月	保健医療福祉論	専	教授	ウツウ ｼﾞﾌﾞ 河原 智江	平成28年4月	保健医療福祉論	専任教員を補充し担当者交代。平成27年11月AC教員審査済。 (28)
					兼任	講師	ウツウ ｼﾞﾌﾞ 河原 智江	平成27年4月	保健医療福祉論	担当者の交代（27）
兼任	講師	ウツウ ｼﾞﾌﾞ 中村 究	平成25年4月	医療情報論	専	教授	ウツウ ｼﾞﾌﾞ 高木 廣文	平成28年4月	医療情報論	専任教員を補充し担当者交代。平成27年11月AC教員審査済。 (28)
兼任	講師	ウツウ ｼﾞﾌﾞ 後藤 恭一	平成26年4月	医療統計	専	教授	ウツウ ｼﾞﾌﾞ 高木 廣文	平成28年4月	医療情報論	専任教員を補充し担当者交代。平成27年11月AC教員審査済。 (28)
兼任	講師	ウツウ ｼﾞﾌﾞ 中島 三知子	平成26年4月	保健医療法規	兼任	講師	ウツウ ｼﾞﾌﾞ 飯島 慈明	平成28年4月	保健医療法規	担当者の交代（28）

兼任	講師	チノ 千葉 喜久也	平成26年4月	障害者医療論							
兼任	講師	チノ 谷 千春	平成26年4月	障害者コミュニケーション							
兼任	講師	コンドウ マリ 近藤 麻理	平成27年4月	国際看護論							
兼任	講師	ススキ 鈴木 めぐみ	平成27年4月	医療安全							
兼任	講師	イノエ ユミ 井上 由美子	平成27年4月	看護管理学							
兼任	講師	オホノ 金子 剛士	平成27年4月	医療政策論	兼任	講師	イシオ マサ 石尾 謙	平成28年4月	医療政策論	担当者の変更 (26)	
					兼任	講師	ナカムラ ユミ 中村 由美子 ノノエ マチコ 井上 裕子	平成28年4月 平成27年4月	家族看護学	担当者の変更 (26) 担当者の追加 (27)	
					兼任	講師	タカミ 高宮 有介	平成27年4月	成人看護学援助論IV	担当者の追加 (27)	
兼任	講師	チャールズ・E. アンダーソン	平成25年4月	ビジネス英語 I	兼任	講師	コナー・ワイルドウッド	平成28年4月	ビジネス英語 I	担当者の変更 (26)	
兼任	講師	エリック・トマス・ロング	平成25年4月	言語学概論	兼任	講師	ミヤギ ユミ 宮崎 由美	平成25年4月	言語学概論	担当者の変更 (25)	
兼任	講師	アントニオ 安德 ニーナ	平成25年4月	基礎ロシア語 (入門) 応用ロシア語 (総合)							
兼任	講師	イノエ ユミ 伊谷 江美子	平成25年4月	ライフプランとキャリア プラン							
兼任	講師	イノエ 貴也	平成25年4月	法学 (日本国憲法)	兼任	講師	ゴトリ 後藤 武秀	平成28年4月	法学 (日本国憲法)	担当者の変更 (26)	
兼任	講師	エンドウ 遠藤 聡	平成25年4月	国際関係の諸課題							
兼任	講師	ヨコヤマ 和子	平成25年4月	応用日本語 (留学生対 象)							
兼任	講師	イシノ 愛慶	平成25年4月	基礎コア語 (入門) 応用コア語 (総合)							
兼任	講師	カハベ 幸浩	平成25年4月	情報処理 情報活用法A (データ ベース)							
兼任	講師	エガワ 直子	平成25年4月	社会学概論							
兼任	講師	イシノ 映里果	平成25年4月	応用中国語 (総合)	兼任	講師	シノ 虹	平成27年4月	応用中国語 (総合)	担当者の変更 (27)	
兼任	講師	コヤマ 浩	平成25年4月	政治・社会の諸課題							
兼任	講師	オノ 裕子	平成25年4月	現代の家族							
兼任	講師	マツムラ 芳樹	平成25年4月	情報処理 情報活用法B (ネット ワーク)							
兼任	講師	ニシ 孝	平成25年4月	経済・産業の諸課題 経済学概論	兼任	講師	クノ 新	平成27年4月	経済・産業の諸課題	担当者の変更 (27)	
					兼任	教授	ニシノ 広次	平成27年4月	経済学概論	担当者の変更 (27)	
兼任	講師	イシノ 寿子	平成25年4月	基礎ドイツ語 (入門) 基礎ドイツ語 (表現) 応用ドイツ語 (総合)							

兼任	講師	タノ シズコ 田村 静子	平成25年4月	介護・ケアと生活 地域社会と福祉	兼任	講師	ヒガキ ヨコ 日高 洋子	平成27年4月	介護・ケアと生活	担当者の変更 (27) 担当者の変更 (26)
					兼任	講師	キノシユキ 矢野 章永	平成26年4月		
兼任	講師	タノ シズコ 田村 静子	平成25年4月	介護・ケアと生活 地域社会と福祉	兼任	講師	ヒガキ ヨコ 日高 洋子	平成27年4月	地域社会と福祉	担当者の変更 (27)
					兼任	講師	タノ シズコ 田村 静子	平成26年4月		
兼任	講師	タカノ マコト 高田 誠	平成25年4月	企業・組織の仕組み	兼任	講師	フクバ タツ 渡邊 隆雄	平成28年4月	企業・組織の仕組み	担当者の変更 (28)
兼任	講師	タケノ リョウジ 土屋 良二	平成25年4月	応用フランス語 (総合)	兼任	教授	J. マーニュ J. マーニュ	平成26年4月	応用フランス語 (総合)	担当者の変更 (26) 担当者の変更 (25)
					兼任	講師	チノベ ナツ 内藤 真奈	平成25年4月		
兼任	講師	タケノ シズコ 牧野 素子	平成25年4月	基礎イタリア語 (入門)	兼任	講師	ナガノ トシ 長野 徹	平成26年4月	基礎イタリア語 (入門)	担当者の変更 (26)
				応用イタリア語 (総合)	兼任	講師	タケノ シズコ 牧野 素子	平成25年4月	応用イタリア語 (総合)	
兼任	講師	モトノ ヨシエ 本間 芳江	平成25年4月	基礎スペイン語 (入門)	兼任	講師	フクダ タツ 福田 大治	平成28年4月	基礎スペイン語 (入門)	担当者の変更 (28) 担当者の変更 (27)
				応用スペイン語 (総合)	兼任	講師	キネノ ナツ 金子 奈美	平成27年4月		
兼任	講師	モトノ ヨシエ 本間 芳江	平成25年4月	基礎スペイン語 (入門) 応用スペイン語 (総合)	兼任	講師	ヒガキ ヨコ 日高 憲三	平成28年4月	基礎スペイン語 (入門) 応用スペイン語 (総合)	担当者の変更 (28) 担当科目の変更 (27) 担当者の変更 (25)
					兼任	講師	フクダ タツ 福田 大治	平成26年4月		
兼任	講師	ハヤシ リカ 林 里香	平成25年4月	基礎日本語 (留学生対象)	兼任	講師	オガキ シズカ 小高 愛	平成27年4月	基礎日本語 (留学生対象)	担当者の変更 (27) 担当者の変更 (26)
					兼任	教授	ササキ ユキ 佐藤 雄一	平成26年4月		

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇学部 △学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。  
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。  
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。  
 ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には**当該学部等の就任時における満年齢**を、「**変更状況**」には**平成27年5月1日現在の満年齢**を記入してください。  
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。  
 ・ **置可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**  
 ・ 「専任教員採用等変更書(A-C)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2)-① 専任教員数

設置時の計画					現在(報告書提出時)の状況					現在(報告書提出時)の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
10	5	6	6	27	10	8	3	4	25	10	8	3	4	25
(9)	(4)	(6)	(1)	(20)						[0]	[3]	[△3]	[△2]	[△2]

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。  
 ・ 「現在(報告書提出時)の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: △1)

(2)-② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告書提出時(上記(A))の教員のうち、定年年齢を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(B))の教員のうち、定年年齢を延長して採用する教員数
65	2	2
歳	名	名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)。および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年年齢を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
1	准教授	廣瀬 信子	必修	看護学入門	①	一身上の都合により就任辞退（27）
			必修	基礎看護技術論Ⅰ	①	
			必修	基礎看護技術論Ⅱ	①	
			必修	基礎看護技術論Ⅲ	①	
			必修	日常生活援助技術論Ⅰ	①	
			必修	日常生活援助技術論Ⅱ	①	
			必修	日常生活援助技術論Ⅲ	①	
			必修	回復促進援助技術論Ⅰ	①	
			必修	回復促進援助技術論Ⅱ	①	
			必修	基礎看護学実習Ⅰ	①	
			必修	基礎看護学実習Ⅱ	①	
			必修	総合技術演習（OSCE）Ⅰ	①	
			選択	看護教育学	①	
			必修	看護学総合演習	①	
			必修	看護学総合実習	①	
			必修	総合技術演習（OSCE）Ⅱ	①	
			2	助教	菊地 きよ美	
必修	基礎看護学実習Ⅱ	①				
必修	成人看護学実習Ⅰ	①				
必修	成人看護学実習Ⅱ	①				
3	助教	細野 知子	必修	基礎看護学実習Ⅰ	①	一身上の都合により就任辞退（27）
			必修	基礎看護学実習Ⅱ	①	
			必修	成人看護学実習Ⅰ	①	
			必修	成人看護学実習Ⅱ	①	

合計（A）			後任補充状況の集計（B）					
就任を辞退した教員数	担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
3 人	必修	25 科目	必修	25 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	1 科目	選択	1 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	26 科目	計	26 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼任教員が担当する（している）場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	教授	高橋 博美	必修	看護学概論	①	病氣加療のため辞任 (26)
			必修	看護過程展開論	①	
			必修	成人看護学概論	①	
			必修	成人看護学援助論Ⅰ	①	
			必修	成人看護学援助論Ⅱ	①	
			必修	成人看護学援助論Ⅲ	①	
			必修	成人看護学援助論Ⅳ	①	
			必修	成人看護学援助演習	①	
			必修	成人看護学実習Ⅰ	①	
			必修	成人看護学実習Ⅱ	①	
			選択	クリティカルケア	①	
			選択	多職種連携論	①	
			選択	看護教育学	①	
			必修	看護学総合演習	①	
			必修	看護学総合実習	①	
			必修	総合技術演習 (OSCE) Ⅱ	①	
			必修	看護研究法Ⅰ	①	
必修	看護研究法Ⅱ	①				
2	教授	岩永 秀子	必修	看護学入門	①	一身上の都合により辞任 (26)
			必修	看護学概論	①	
			必修	看護アセスメント論	①	
			必修	看護過程展開論	①	
			必修	基礎看護技術論Ⅰ	①	
			必修	基礎看護技術論Ⅱ	①	
			必修	基礎看護技術論Ⅲ	①	
			必修	日常生活援助技術論Ⅰ	①	
			必修	日常生活援助技術論Ⅱ	①	
			必修	日常生活援助技術論Ⅲ	①	
			必修	回復促進援助技術論Ⅰ	①	
			必修	回復促進援助技術論Ⅱ	①	
			必修	基礎看護学実習Ⅰ	①	
			必修	基礎看護学実習Ⅱ	①	
			必修	総合技術演習 (OSCE) Ⅰ	①	
			必修	看護学総合演習	①	
			必修	看護学総合実習	①	
必修	総合技術演習 (OSCE) Ⅱ	①				
必修	看護研究法Ⅰ	①				
必修	看護研究法Ⅱ	①				
3	准教授	富澤 美幸	必修	コミュニケーション論	①	一身上の都合により辞任 (26)
			必修	看護アセスメント論	①	
			必修	基礎看護技術論Ⅰ	①	
			必修	基礎看護技術論Ⅱ	①	
			必修	基礎看護技術論Ⅲ	①	
			必修	日常生活援助技術論Ⅰ	①	
			必修	日常生活援助技術論Ⅱ	①	
			必修	日常生活援助技術論Ⅲ	①	
			必修	基礎看護学実習Ⅰ	①	
			必修	基礎看護学実習Ⅱ	①	
			必修	総合技術演習 (OSCE) Ⅰ	①	
			必修	看護学総合演習	①	
			必修	看護学総合実習	①	
			必修	総合技術演習 (OSCE) Ⅱ	①	
			必修	看護研究法Ⅱ	①	

4	講師	中原 順子	必修	基礎看護学実習 I	①	一身上の都合により辞任 (26)
			必修	基礎看護学実習 II	①	
			必修	高齢者看護学実習 I	①	
			必修	高齢者看護学実習 II	①	
			必修	高齢者看護学実習 III	①	
			必修	総合技術演習 (OSCE) I	①	
			必修	看護学総合演習	①	
			必修	看護学総合実習	①	
5	教授	大関 武彦	必修	薬理学	②	病氣加療のため辞任 (27)
			必修	病態と治療IV (産婦人科・小児科疾患)	②	
			必修	総合技術演習 (OSCE) I	①	
			選択	臨床薬理学	②	
			選択	先端医療と看護	②	
			必修	総合技術演習 (OSCE) II	①	
			選択	健康の科学	②	
6	助教	松戸 典文	必修	基礎看護学実習 I	①	一身上の都合により辞任 (27)
			必修	基礎看護学実習 II	①	
			必修	高齢者看護学実習 I	①	
			必修	高齢者看護学実習 II	①	
			必修	高齢者看護学実習 III	①	
7	教授	加藤 令子	必修	看護倫理	②	一身上の都合により辞任 (28)
			必修	小児看護学概論	①	
			必修	小児看護学援助論	①	
			必修	小児看護学援助演習	①	
			必修	小児看護学実習	①	
			必修	総合技術演習 (OSCE) I	①	
			選択	国際看護論	①	
			選択	緩和ケア・終末ケア	①	
			選択	家族看護学	②	
			選択	災害看護論	①	
			選択	看護専門職論	①	
			必修	看護学総合演習	①	
			必修	看護学総合実習	①	
			必修	総合技術演習 (OSCE) II	①	
			必修	看護研究法 I	①	
必修	看護研究法 II	①				
8	教授	矢野 章永	必修	在宅看護学援助論	①	一身上の都合により辞任 (28)
			必修	在宅看護学援助演習	①	
			必修	在宅看護論実習 I	①	
			必修	在宅看護論実習 II	①	
			必修	総合技術演習 (OSCE) I	①	
			選択	ケースマネジメント	①	
			選択	継続看護	①	
			選択	看護と芸術	①	
			選択	看護教育学	①	
			選択	災害看護論	①	
			必修	看護学総合演習	①	
			必修	看護学総合実習	①	
			必修	総合技術演習 (OSCE) II	①	
			必修	看護研究法 I	①	
			必修	看護研究法 II	①	

9	准教授	菱刈 美和子	必修	成人看護学援助論Ⅰ	①	一身上の都合により辞任（28）
			必修	成人看護学援助論Ⅱ	①	
			必修	成人看護学援助論Ⅲ	①	
			必修	成人看護学援助論Ⅳ	①	
			必修	成人看護学援助演習	①	
			必修	成人看護学実習Ⅰ	①	
			必修	成人看護学実習Ⅱ	①	
			必修	総合技術演習（OSCE）Ⅰ	①	
			必修	看護学総合演習	①	
			必修	看護学総合実習	①	
			必修	総合技術演習（OSCE）Ⅱ	①	
			必修	看護研究法Ⅱ	①	
			必修	基礎ゼミナール	①	
10	准教授	田中 敦子	必修	基礎看護学実習Ⅰ	①	一身上の都合により辞任（28）
			必修	基礎看護学実習Ⅱ	①	
			必修	高齢者看護学概論	①	
			必修	高齢者看護学援助論	①	
			必修	高齢者看護学援助演習	①	
			必修	高齢者看護学実習Ⅰ	①	
			必修	高齢者看護学実習Ⅱ	①	
			必修	高齢者看護学実習Ⅲ	①	
			必修	総合技術演習（OSCE）Ⅰ	①	
			必修	看護学総合演習	①	
			必修	看護学総合実習	①	
			必修	総合技術演習（OSCE）Ⅱ	①	
			選択	ヘルスプロモーション	①	
			選択	ケースマネジメント	①	
			必修	看護研究法Ⅱ	①	
			必修	基礎ゼミナール	①	
11	准教授	丸山 昭子	必修	精神看護学援助論	①	一身上の都合により辞任（28）
			必修	精神看護学援助演習	①	
			必修	精神看護学実習	①	
			必修	総合技術演習（OSCE）Ⅰ	①	
			必修	看護学総合演習	①	
			必修	看護学総合実習	①	
			必修	総合技術演習（OSCE）Ⅱ	①	
			必修	看護研究法Ⅱ	①	
12	講師	齋藤 孝子	必修	看護アセスメント論	①	一身上の都合により辞任（28）
			必修	基礎看護技術論Ⅰ	①	
			必修	基礎看護技術論Ⅱ	①	
			必修	基礎看護技術論Ⅲ	①	
			必修	日常生活援助技術論Ⅰ	①	
			必修	日常生活援助技術論Ⅱ	①	
			必修	日常生活援助技術論Ⅲ	①	
			必修	回復促進援助技術論Ⅰ	①	
			必修	回復促進援助技術論Ⅱ	①	
			必修	基礎看護学実習Ⅰ	①	
			必修	基礎看護学実習Ⅱ	①	
			必修	総合技術演習（OSCE）Ⅰ	①	
			必修	看護学総合演習	①	
			必修	看護学総合実習	①	
			必修	総合技術演習（OSCE）Ⅱ	①	
			必修	基礎ゼミナール	①	

13	講師	佐野 望	必修	基礎看護学実習 I	①	一身上の都合により辞任 (28)
			必修	基礎看護学実習 II	①	
			必修	高齢者看護学援助論	①	
			必修	高齢者看護学援助演習	①	
			必修	高齢者看護学実習 I	①	
			必修	高齢者看護学実習 II	①	
			必修	高齢者看護学実習 III	①	
			必修	総合技術演習 (OSCE) I	①	
			必修	看護学総合演習	①	
			必修	看護学総合実習	①	
			必修	総合技術演習 (OSCE) II	①	
14	講師	西 留美子	必修	継続看護	①	一身上の都合により辞任 (28)
			必修	基礎看護学実習 I	①	
			必修	基礎看護学実習 II	①	
			必修	在宅看護学援助論	①	
			必修	在宅看護学援助演習	①	
			必修	在宅看護学実習 I	①	
			必修	在宅看護学実習 II	①	
			必修	総合技術演習 (OSCE) I	①	
			必修	看護学総合演習	①	
			必修	看護学総合実習	①	
			必修	総合技術演習 (OSCE) II	①	
15	助教	石渡 智恵美	必修	基礎看護学実習 I	①	一身上の都合により辞任 (28)
			必修	基礎看護学実習 II	①	
			必修	成人看護学実習 I	①	
			必修	成人看護学実習 II	①	
			必修	総合技術演習 (OSCE) I	①	
			必修	看護学総合実習	①	
			必修	総合技術演習 (OSCE) II	①	
16	助教	矢口 菜穂	必修	基礎看護学実習 I	③	一身上の都合により辞任 (28)
			必修	基礎看護学実習 II	③	
			必修	成人看護学実習 I	③	
			必修	成人看護学実習 II	③	
			必修	総合技術演習 (OSCE) I	③	
			必修	看護学総合演習	③	
			必修	看護学総合実習	③	
17	助教	佐藤 京子	必修	基礎看護学実習 I	①	一身上の都合により辞任 (28)
			必修	基礎看護学実習 II	①	
			必修	成人看護学実習 I	①	
			必修	成人看護学実習 II	①	
			必修	総合技術演習 (OSCE) I	①	
			必修	看護学総合演習	①	
			必修	看護学総合実習	①	
18	助教	甲斐 恭子	必修	基礎看護学実習 I	①	一身上の都合により辞任 (28)
			必修	基礎看護学実習 II	①	
			必修	小児看護学実習 I	①	
			必修	総合技術演習 (OSCE) I	①	
			必修	看護学総合演習	①	
			必修	看護学総合実習	①	
			必修	総合技術演習 (OSCE) II	①	
19	助教	石田 徹	必修	基礎看護学実習 I	①	一身上の都合により辞任 (28)
			必修	基礎看護学実習 II	①	
			必修	精神看護学実習 I	①	
			必修	総合技術演習 (OSCE) I	①	
			必修	看護学総合演習	①	
			必修	看護学総合実習	①	
			必修	総合技術演習 (OSCE) II	①	

合計 (C)			後任補充状況の集計 (D)					
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
19 人	必修	200 科目	必修	189 科目	必修	3 科目	必修	8 科目
	選択	18 科目	選択	14 科目	選択	4 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	218 科目	計	203 科目	計	7 科目	計	8 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した**全ての専任教員**の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼任教員が担当する(している)場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

上記(3)－① ・ (3)－② の合計

合計 (A) + (C)			後任補充状況の集計 (B) + (D)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
22 人	必修	225 科目	必修	214 科目	必修	3 科目	必修	8 科目
	選択	19 科目	選択	15 科目	選択	4 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	244 科目	計	229 科目	計	7 科目	計	8 科目

- (注) ・ **就任辞退(未就任)及び辞任した全専任教員**について、**教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入**ください。

#### (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>専任教員数が4人減じたことについては、平成26年4月に専任教員2人を補充するとともに、平成27年4月から2人の専任教員採用予定で公募中である。</p> <p>公募中につき後任未定となっている2人の専任教員が担当していた授業科目については、教員資格審査等の所要の手続きを経た他の専任教員または兼任教員で対応しており、支障ない。</p> <p>専任教員の辞任に際しては、本学部の領域会議を実質的な単位として、教育上の引継ぎや学生へのフォローを行っている。学生に対しては、教員一覧をホームページ上に掲載するとともに、ガイダンス時に教員紹介を行い、周知している。</p> <p>平成27年4月に採用予定で公募中であった専任教員2人については、予定通りの採用を行い、教授2人を補充した。新たに就任辞退等のあった専任教員5人のうち、准教授1人および助教3人について、平成27年4月に准教授1人、助教3人の補充を行った。教授1人については、補充を行っていないが、担当していた授業科目については、教員資格審査等の所要の手続きを経た他の専任教員または兼任教員で対応しており、支障ない。</p> <p>専任教員の辞任・就任辞退に際しては、本学部の領域会議を実質的な単位として、教育上の引継ぎや学生へのフォローを行っている。学生に対しては、教員一覧をホームページ上に掲載するとともに、ガイダンス時に教員紹介を行い、周知している。</p> <p>平成27年度に新たに就任辞退等のあった専任教員13人について、平成28年4月に教授3人、准教授3人、講師3人、助教3人、計12人の補充を行った。助教2人については、補充を行っていないが、担当していた授業科目については、教員資格審査等の所要の手続きを経た他の専任教員または兼任教員で対応しており、支障ない。</p> <p>専任教員の辞任・就任辞退に際しては、本学部の領域会議を実質的な単位として、教育上の引継ぎや学生へのフォローを行っている。学生に対しては、教員一覧をホームページ上に掲載するとともに、ガイダンス時に教員紹介を行い、周知している。</p>
--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時  (25年5月)	該当なし	該当なし	該当なし
設置計画履行状況 調 査 時  (26年5月)	該当なし	該当なし	該当なし
設置計画履行状況 調 査 時  (27年5月)	該当なし	該当なし	該当なし

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

## 7 その他全般的事項

<看護学部 看護学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
① 修了要件単位数 124単位 必修科目 103単位 選択必修科目 1単位 選択科目 20単位	① 該当なし

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>共立女子大学・共立女子短期大学FD委員会を設置している。 当該委員会は、共立女子学園将来基本構想委員会のもとに置かれており、大学長及び短期大学長、大学各学部から選出された委員、短期大学から選出された委員、教務課統括課長により構成されている。 また、看護学部内におけるFDは、共立女子大学・共立女子短期大学FD委員会の検討を受けて、看護学部より選出されたFD委員が中心となり、学部内におけるFDの推進等を、教授会と連携を取りながら実施する。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>共立女子大学・共立女子短期大学FD委員会は、平成28年度は、原則毎月第4週の月曜日に開催が予定されている。具体的には、4/25、5/30、6/27、7/25、9/26、10/24、11/28、12/26、1/30、2/20の10回を予定している。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>1) 委員会の審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ FDの企画に関すること</li> <li>・ FDの実施に関すること</li> <li>・ FDの評価に関すること</li> <li>・ その他、FDの推進に関すること</li> </ul> <p>2) 具体的な審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業アンケートに関すること</li> <li>・ 単位制度の実質化に関すること（シラバスの充実、CAP制度の運用、GPA制度の運用等）</li> <li>・ 授業見学会に関すること</li> <li>・ FDに係る研修に関すること</li> </ul>
--

## ② 実施状況

### a 実施内容

- 1) 授業見学会
- 2) FD研修会

### b 実施方法

#### 1) 授業見学会

学生の父母及び学内の教職員等を対象に、大学・短期大学の授業を公開。学生の父母に本学の教育に対する理解を深めてもらうとともに、授業内容・授業方法に関する意見をフィードバックして、教育改善に資することを目的としている。

#### 2) FD研修会

専任教員を対象とした研修会を開催。FD委員会委員がコーディネーターとなり、外部講師を招聘した講演会、模擬授業、グループワーク、ディスカッション等を実施し、授業内容や授業方法の改善に役立てる。

### c 開催状況（教員の参加状況含む）

#### 1) 授業見学会

毎年度6月に実施。原則として全ての授業科目を対象としている（一部の実験・実習、演習科目等を除く）

#### 2) FD研修会

毎年度3月に実施。専任教員40～50名程度が参加。

### d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

#### 1) 授業見学会

参加者に対してアンケートを実施し、授業内容・授業方法に関する意見を各教員にフィードバックし、授業内容・授業方法等の改善を図っている。

#### 2) FD研修会

模擬授業の実施と意見交換、グループワークやディスカッションの実施により、授業技術や教材開発に関する改善について具体的に取り組んでいる。参加者以外の専任教員に対しても、授業内容・授業方法等の改善の参考となるよう、教授会等を通じて取組み内容を共有化している。

## ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

### a 実施の有無及び実施時期

前期・後期に各1回、実施している。

### b 教員や学生への公開状況、方法等

結果については、各授業担当者に公開するとともに、各授業担当者は、アンケート結果に基づいて「所感」を作成し、学内ネットワークを通じて学生・教員に対して全所感と全体集計を開示している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

## ○共立女子大学・共立女子短期大学 FD 委員会規程

### (目的)

**第 1 条** 共立女子大学・共立女子短期大学において、ファカルティ・ディベロップメント（授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な取組のこと。以下「FD」という）の推進のために、共立女子学園将来基本構想委員会のもとに、共立女子大学・共立女子短期大学 FD 委員会（以下「本委員会」という）を置く。

### (組織)

**第 2 条** 本委員会は、次に掲げる委員で構成する。

- ① 大学長及び短期大学長
- ② 大学各学部から選出された委員 8 名
- ③ 短期大学から選出された委員 2 名
- ④ 教務課統括課長

2 委員長は、大学長とする。

3 任命は理事長が行う。

4 任期は 2 年とし、再任を妨げない。ただし、職位に基づいて任命される委員の任期は、当該職位の任期までとする。

5 欠員が生じた場合の新任者の任期は、前任者の残任期間とする。

### (審議事項)

**第 3 条** 本委員会は、次の事項について審議する。

- ① FD の企画に関すること
- ② FD の実施に関すること
- ③ FD の評価に関すること
- ④ 授業アンケートに関すること
- ⑤ その他、FD の推進に関すること

2 本委員会の審議結果は、共立女子学園将来基本構想委員会及び学部長・科長会の議を経て、学長が執行する。

### (事務)

**第 4 条** 本委員会の事務は、教務課が所管する。

(規程の改廃)

第5条 この規程の改廃は、共立女子学園将来基本構想委員会及び学部長・科長会の議を経て、常務理事会において行う。

附 則

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この改正規程は、平成20年6月1日から施行する。

附 則

この改正規程は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この改正規程は、平成25年4月1日から施行する。